

令和6年度 第3回三島郡(島本町)地区小・中学校教科用図書選定委員会

日時 令和 6 年 7 月 3 日 (水)
午前9時30分～12時
場所 島本町役場地階 第五会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 具申一覧表の確認
- 4 具申内容の検討
- 5 その他
- 6 閉会

令和6年度 三島郡（島本町）地区小・中学校教科用図書選定委員会

「令和7年度使用中学校教科用図書の選定に関する意見について」具申

1 令和7年度使用中学校教科用図書具申一覧表

種目	教科用図書	発行者番号	発行者略称	書 名
国語	選定 教科用図書	1 5	三省堂	現代の国語
		3 8	光村	国語
	その他の 教科用図書	2	東書	新編 新しい国語
		1 7	教出	伝え合う言葉 中学国語
書写	選定 教科用図書	1 5	三省堂	現代の書写
		3 8	光村	中学書写
	その他の 教科用図書	2	東書	新編 新しい書写
		1 7	教出	中学書写
社会 (地理的 分野)	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい社会 地理
		4 6	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
	その他の 教科用図書	1 7	教出	中学社会 地理 地域にまなぶ
		1 1 6	日文	中学社会 地理的分野
社会 (歴史的 分野)	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい社会 歴史
		1 7	教出	中学社会 歴史 未来をひらく
	その他の 教科用図書	4 6	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
		8 1	山川	中学歴史 日本と世界 改訂版
		1 1 6	日文	中学社会 歴史的分野
		2 2 5	自由社	新しい歴史教科書
		2 2 7	育鵬社	新しい日本の歴史
		2 2 9	学び舎	ともに学ぶ人間の歴史
		2 3 6	令書	国史教科書 第7版

種目	教科用図書	発行者番号	発行者略称	書 名
社会 (公民的分野)	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい社会 公民
		4 6	帝国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
	その他の 教科用図書	1 7	教出	中学社会 公民 とともに生きる
		1 1 6	日文	中学社会 公民的分野
		2 2 5	自由社	新しい公民教科書
		2 2 7	育鵬社	新しいみんなの公民
社会 (地図)	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい社会 地図
		4 6	帝国	中学校社会科地図
数学	選定 教科用図書	6 1	啓林館	未来へひろがる数学
		1 0 4	数研	これからの 数学
	その他の 教科用図書	2	東書	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
		4	大日本	数学の世界
		1 1	学図	中学校 数学
		1 7	教出	中学数学
		1 1 6	日文	中学数学
理科	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい科学
		6 1	啓林館	未来へひろがるサイエンス
	その他の 教科用図書	4	大日本	理科の世界
		1 1	学図	中学校 科学
		1 7	教出	自然の探究 中学理科
音楽 (一般)	選定 教科用図書	1 7	教出	中学音楽 音楽のおくりもの
		2 7	教芸	中学生の音楽
音楽 (器楽合奏)	選定 教科用図書	1 7	教出	中学器楽 音楽のおくりもの
		2 7	教芸	中学生の器楽

種目	教科用図書	発行者番号	発行者略称	書 名
美術	選定 教科用図書	9	開隆堂	美術
		3 8	光村	美術
	その他の 教科用図書	1 1 6	日文	美術
保健体育	選定 教科用図書	5 0	大修館	最新 中学校保健体育
		2 2 4	学研	新・中学保健体育
	その他の 教科用図書	2	東書	新編 新しい保健体育
		4	大日本	中学校保健体育
技術・家庭 (技術分野)	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
		9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
	その他の 教科用図書	6	教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
技術・家庭 (家庭分野)	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
		9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
	その他の 教科用図書	6	教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
英語	選定 教科用図書	9	開隆堂	Sunshine English Course
		1 5	三省堂	NEW CROWN English Series
	その他の 教科用図書	2	東書	NEW HORIZON English Course
		1 7	教出	ONE WORLD English Course
		3 8	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE
		6 1	啓林館	BLUE SKY English Course

種目	教科用図書	発行者番号	発行者略称	書 名
道徳	選定 教科用図書	2	東書	新編 新しい道徳
		1 1 6	日文	中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
	その他の 教科用図書	1 7	教出	中学道徳 とびだそう未来へ
		3 8	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
		2 2 4	学研	新版 中学生の道徳 明日への扉
		2 3 2	あか図	中学生の道徳
		2 3 3	日科	道徳 中学校

2 令和7年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、必要に応じて採択する。

具申理由(案)

(教科名 国語)

選定教科用図書 2 者

三省堂

学習の見通しと振り返りが明確に位置づけられており、何を学ぶか、何を学んだかに加え、どのように学ぶかをわかりやすく示すことで、学ぶ意義を生徒が自覚しやすく、主体的な学習につながることを期待できる。また、他教科や日常の言語生活との連携を図り、幅広い題材についての認識を深め、国語科の学習で習得した言葉の力が、他教科や社会生活などの中で生きてはたらくよう工夫されている。

光村図書

「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」の各領域の学習が特定の時期に偏ることのないよう、教材に軽重をつけながらバランスよく配列されている。また、「課題を発見し、解決するための言葉の力」を高めることができるよう、各単元において課題発見（問いをもつこと）及び課題解決能力全体を伸ばすことに学習が焦点化されている。このことにより、資質・能力がしっかりと身につく、習得した力を活用して課題解決ができる仕組みとなっている。また、1年間で身につける資質・能力を記した「学習の見通しをもとう」に他教科との関連が明記されており、教科横断的な学習を意識した指導の推進が期待できる。

その他の教科用図書 その他の発行者

東京書籍

各教材冒頭の「見通す」で学習の見通しを持ち、教材末の「振り返る」で学習を振り返るとともに、次の学習への展望を持つという仕組みによって、生徒が主体的に学習できる。また、全体を通して、協働的な学びの場面が多く設定されている。授業の導入に使えるものや、学習をより深められるものなど、多彩なデジタルコンテンツが利用できる。

教育出版

指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して学力向上を図った指導ができるように、学年間と学年を通しての系統的な単元構成がなされている。また、SDGs も視野に入れた幅広い分野からの話題を取り上げ、他教科等の内容との連携について考慮されている。

(教科名 書写)

選定教科用図書 2 者

三省堂

「本編」「資料編」の二部構成となっており、小学校での既習事項を確認したのち必修の学習内容に進むことができ、段階的な指導が可能である。「自分の文字をよりよくする」をテーマとし、普段の生活に生かす「書いて身に付けよう」や、「豊かな文字文化に触れる」という部分など、社会生活に生きる書写の力を系統立てて育むことが出来るように工夫されている。発展的な学習として、高校芸術家書道への関心、興味を持つことも見込める。

光村図書

各単元の学習の流れが、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で組まれており、見通しをもって主体的に学習に取り組むことが出来るよう工夫されている。学習段階としても、小学校の復習から始まり、その後中学三年間の内容へと系統立てて説明がされているため、段階を踏んで確実な指導を行えるよう組まれている。今回から「書き初めマスターブック」が新設され、「全国文字マップ」などと併用することで、豊かな文字文化に触れながら学習に向かうことが出来るようになっている。教科書連動の二次元コードでは、楷書や行書の筆使いを動画で確認しながら学習することもできる。

その他の教科用図書 その他の発行者

東京書籍

はじめに硬筆で実践し、そこで出た課題を解決するポイントを「書写のカギ」で見つけ、毛筆で書いて確認し、硬筆で生活に生かす、という展開となっているため、硬筆と毛筆の関係を密接にした実践を図っている。その展開が主体的な学習にもつながっており、普段の生活で確かな力としていく工夫がされている。二次元コードで毛筆の動画が用意され、正しい見本を確認しながら個別に学習できるようになっている。

教育出版

単元ごとに目標がわかりやすく示されており、主体的な学習が見込まれる。特別支援教育に配慮するとともに、外国にルーツのある生徒なども含めた生徒たちが学びやすいように、筆順や基本点画とその名称など、わかりやすく示すという工夫がされている。また文字に関するコラムを豊富に設け、生徒の発達段階に応じて、歴史上の人物が残した文字のテーマを設定し、文字に対する興味関心を高められるようになっている。

(教科名 社会 地理的分野)

選定教科用図書 2 者

東京書籍

単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入」→1 単元時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを構造化している。発展的な学習では、思考を整理する際、シンキングツールなどを効果的に活用する視点が紹介されており、深い学びを実現する足掛かりができています。学習を深化させる観点でも豊富なコラムなどが設定されており、生徒個人の能力に応じた学びが追究できる。本文を補完する学習効果の高い図表が大きく鮮やかに掲載しており、生徒の興味関心を喚起させる。

帝国書院

写真や図版、本文が密接に関連しているため、地理的事象の背景や因果関係を読み取ることができ、「地理的な見方・考え方」が自然とできるように配慮されている。地図帳と同じレイアウトが多く掲載されており、様々な資料を用いる機会のある地理的分野の学習においては有用性が高いと考えられる。見開き 1 時間の紙面が、導入→学習課題→本文→確認しようの展開で構造化され学習内容を定着できるようになっている。

その他の教科用図書 その他の発行者

教育出版

レイアウトがすっきりと整理されており、学習すべき内容に関して整理がなされている。歴史的・公民的分野との関連付けを重視し、3 分野を通して社会的な課題に対して取り組む姿勢を育もうとしている。

日本文教出版

基礎的・基本的な知識の定着を図り、社会的事象の地理的な見方・考え方を活用しながら、課題を追求したり解決したりする思考力・判断力・表現力の向上を図る学習ができる内容になっている。さまざまなコーナーやコラムが掲載されており、生徒の学習を深化させることができる。

(教科名 社会 歴史的分野)

選定教科用図書 2 者

東京書籍

本書の特徴は、他社と比較した場合でも、圧倒的な著者数から作り出される歴史教育の多面性である。しかし、多角的な内容でありながら、「持続可能な社会の実現」に向けた内容は統一されており、そのバランス感覚は授業者としてもやりやすさが際立っている。特に見開き 1 ページを 1 単元としており、標準時数 1 3 5 時間＋予備の時間まで計算されており、カリキュラムが組みやすいことも好印象である。

また評価の 3 観点に対する、教科書内での各種取組の工夫は当然のことながら、3 か年を通じて社会科で学ぶべき 5 つの観点「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」について、他の「地理的分野」「公民的分野」の教科書との連動性は魅力である。

近年導入された「デジタル教科書」の使いやすさはもとより、生徒の個人端末からも、自主学習ができるように「QR コンテンツ」も豊富で、テスト前のみならず、自宅で簡単により深くまで予習・復習できる内容となっている。

教育出版

歴史的分野では、各単元で 3 観点のバランスが良く配置され、また人権的課題に対して多角的にとらえている。民主主義とは何なのか？などの物事の「本質的な問い」が繰り返され、基本をおさえると同時に社会科としての奥深くまで考えさせられる内容となっている。

随所に SDGs との関連性を取り入れており、現代社会との比較は歴史学習において画期的である。各章末では振り返りが設定されており、既習内容を活用し、生徒がより深く理解できるように、発展的な設問もみられる。全体を通して UD フォントの使用や、色覚に配慮したユニバーサル・デザインが工夫されており、さまざまな生徒にとって見やすいことも好印象である。

各章末の振り返りには既習内容を活用し、より深く理解するための発展的な設問が準備されている。また各単元で二次元コードを利用したコンテンツが準備されており、資料の拡大だけでなく、ステップアップの動画も視聴できる。

その他の教科用図書 その他の発行者

帝国書院

この教科書は、他の「地理的分野」「公民的分野」だけでなく「地図帳」との連携が見やすく、3 年間の学びを考える上では有効である。また 3 観点のうち特に「主体的・対話的で深い学び」に向けた取組が充実しており、シンキングツールをふんだんに取り入れた「アクティブ歴史」や、章での学びを俯瞰的に

とらえるイラストを示した「タイムトラベル」は、授業でも活用しやすいと思われる。

山川出版社

教科書本文では、歴史的事実を端的に伝え、歴史の「なぜ」を考える構成になっている。また各章間にある「歴史にアプローチ」や、高校の歴史で培ってきた歴史的資料を活用して、詳細に説明されており、高等学校の学習へのつながりをみせている。独自性の強い資料は、中学校で抑えるべき内容の一步先取りができる内容である。

日本文教出版

本教科書は、中学校で学ぶべき内容をおさえながら、現在教育的課題となっている「指導と評価の一体化」に重きを置いて構成されている。特徴的なものとして、単元を通じた学びの目標（導入）から、学習課題を追求（本文）し、最後に目標を解決（まとめ）するまでのプロセスがシンプルで分かりやすい。また人権的課題に関しては広く触れられており、多面的・多角的に学ぶ工夫がされている。理解を深める工夫として「トライ」や、補充・発展的な学びに対しては「QRコンテンツ」が豊富に準備されている。

自由社

教科書の特徴として、全単元を通じた番号が設定されており、歴史の流れをイメージしやすい構成である。また、各章間の振り返りが他社よりも多く割かれており、基礎知識の定着には有効である。また、時代の特徴を考えるページが設けられており、生徒が自分なりの考え方を構築し、根拠を持って説明や議論ができるようにする等の工夫がみられる。

育鵬社

関心・意欲を高めるための取組を工夫しており、「学びのナビゲーション」での問題解決型学習をはじめ、「歴史にズームイン」では、既習内容を多角的にとらえるための資料が提示されている。また、他教科や社会科の他分野との関連を意識させるため、社会的事象や現代的諸課題について考えさせる内容となっている。

学び舎

教科書全体を通して、歴史的な区分（6区分10章）それぞれにイメージが割り振られていることで、今どの範囲を学習しているかが一目でわかるようになっている。また単元タイトルの設定が独特であり、興味を引く。また、具体的な調査の事例を取り上げることにより、資料を関連付け、調査の過程や結果

を整理し、まとめる過程が行えるようになっている。

令和書籍

全体の構成が読み物教材となっており、連続性という面ではわかりやすい。時代区分が、他の出版社に比べ、原始・古代・中世・近世・近代・現代の大きな枠組みのみとなっている。また、まとめ活動を行って学習内容を振り返ることや、コラムなどを用いて我が国の歴史に先人たちがどう関わってきたかを深く知ることができる。

(教科名 社会 公民的分野)

選定教科用図書 2者

東京書籍

学習の流れが捉えやすく、各章において「探究課題」を「立てる」、毎単元での学習課題を解決することで「追求する」、まとめの活動で「解決する」という流れができている。教科・他分野との関連、共通の資料を示すことで、教科・他分野を横断して多面的・多角的に学習を深めることができる。漫画やイラストを掲載することで、興味・関心を持って学習が進められる。

帝国書院

知識が確実に習得できるような本文と、理解を深める資料が適切に配置されており、公民としての資質と能力の基礎が育成されるようになっている。単元を貫く問いが章・節・単元に設定されていて、問いが構造化されており、単元のまとまりのなかで「主体的・対話的で深い学び」につながる構成になっている。具体例を交えた本文や補足によって、基礎的・基本的な内容の定着が図られている。現代社会の諸課題に取り組む人々の姿を示すことで、自分自身の将来と結び付けて考察することができる。

その他の教科用図書 その他の発行者

教育出版

基礎的・基本的な事項が明確にされており、社会の変化や今日的な課題も取り上げられている。「章(節)」がわかりやすく配列されており、学ぶ内容や他の分野や教科との関連が示されている。また、「TRY!」や「表現!」等では、学習内容を踏まえて考察・判断したことについて、論理的に議論できるような仕掛けが設けられている。

日本文教出版

民主主義の意義、生活と経済活動の関連、国際関係などの基礎的・基本的な

知識・技能を習得し、考察することができる。「学習のはじめに」で単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができる。また、デジタルコンテンツを活用し、個別最適な学びを実現しているとともに、「学び合い」では他者との協働的な学びが可能なように工夫されている。

自由社

公民的分野の基礎的・基本的な事項が押さえられている。本文、資料を簡略化することで、必要なことをシンプルに伝えられるように工夫されている。また、見開き中の資料や学習課題から、実社会との関わりを意識した課題が設けられており、課題解決型の学習が可能なように工夫されているとともに、まとめ活動や議論を促す仕掛けも盛り込まれている。

育鵬社

公民的分野の基礎的・基本的な事項が押さえられていて、現代社会の変化や課題に取り組めるようになっている。また、「やってみよう」では他者との対話や意見交換等を行うことにより、協働的な学びが実現できるように配慮されている。見開きの「探究」等では、生徒の考察や判断について、根拠を持って行えるように設定されている。

(教科名 地図)

選定教科用図書 2者

東京書籍

地理的分野の学習に合わせて、世界は州別に、日本は地方別に構成されている。資料は、地域の概観に役立つ自然・産業・人口などの主題図を、各州各地域共通して掲載している。また、資料には関連する別の資料につながるページが表記されており、地理的分野以外での活用についても配慮されている。

帝国書院

地図中の地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるよう配慮されている。地域の特色を視覚的に捉え、大観できるよう、自然環境、生活、文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図がある。生徒が主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう、今日的な社会の課題について多く取り上げている。また、課題をテーマに生徒が意見交流を行えるようになっており、協働的な学びにも配慮されている。

(教科名 数学)

選定教科用図書 2 者

啓林館

各章ごとに、「例・例題」→「問」→「練習問題」と配置されていて、無理なく取り組める学習内容になっている。また、基本的な問題から応用問題、入試問題までを扱い、到達度に応じてしっかり学習が定着できるような構成になっている。

各章での学びを活用し、探究的な学習に結び付けられている「学びをいかそう」がある。そこで上げられている題材を生徒が自分から取り組んだり、授業で取り上げたりすることで、数学を身近に感じ、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるようになっている。

様々な考え方を相互に交流し、学びを深められるよう、随所に「話しあおう」が設置されている。また、学びの達成度を自己評価し、振り返って、今後の学習につなげられる「章のあしあと」も設置されているため、自分から進んで学んでいく楽しさを実感することができる。

I C T の活用により理解が深まる Q R コンテンツが随所に掲載されていて、授業や家庭学習のサポートになることが期待される。

数研出版

現代社会が抱えるさまざまな課題を見据え、S D G s の項目と関連させながら、これからの時代に合った学びに対応している。

基本的な知識や技能の確実な定着を図ることができるように、平易な例や問題を中心に構成されている。単元の導入や活用段階に、Q や T R Y が豊富に設けられている。また、全体にわたって、登場人物が話し合う場面が多くなっており、対話を促す内容になっている。

内容や項目の区別、注意喚起をねらった工夫が、色使いや表示形式等にあり、見やすくなっている。また、身のまわりの課題を解決する機会を設けることで、数学の有用性を感じられるようになっている。

二次元コードを読み込むことで、タブレットでアニメーションを見たり、探究ができたりするようになっている。

その他の教科用図書 その他の発行者

東京書籍

内容の理解を確実にしてから他の問題に取り組めるよう、易から難へと飛躍がないように展開されている。また、学習内容の系統性が考えられ、スパイラルな学習が行えるよう配列されている。

環境や防災・安全など、S D G s に関連する教材が取り扱われている。日常

生活や社会の問題を解決したりし、数学の有用性を実感できる内容がある。

大日本図書

「活動」の課題では、これまで学んだことをもとに考えたり、調べたりして、生徒同士で意見を出し合って問題解決の仕方を学ぶなど、協働的な学びができるような内容になっている。男女の登場場面のバランスに偏りがないよう配慮がある。

学んだことをより深めたり調べたりするための問題として、「学びにプラス」がある。章末の「活用・探究」には学んだことを活用したり、探究したりする課題がある。

学校図書

身のまわりや数学の学習の中から、生徒が自ら問題を発見し、それを数学の問題として考えていくような教科書になっている。(例)で詳しく説明が記載しており、(問)で(例)の理解を試す内容になっている。また、章のまとめの問題では、基礎的な問題から発展的な問題という内容になっている。

生徒の思考の流れがわかりやすく、生徒自身の疑問により学習をつないでいくことで、連続的で系統性のある学習の流れになっている。また、対話的な学びとICTで確かな学力をつけられるように工夫されている。

教育出版

内容が易から難へとステップアップを踏んでおり、「例」、「例題」、「たしかめ」、「問」は、スモールステップを踏んで、生徒の考え方が漸次高まるようになっている。また、教科書に登場する生徒は男女偏りがない。外国にルーツのある生徒も登場し、人権に配慮されている。

「数学の広場」や3年巻末の「ひろがる数学」では、高校数学に触れている。

日本文教出版

原則、1小節1時間の構成になっており、学習内容の区切りが明確で学習の焦点化が図りやすい。

車いすマラソンなど、SDGsに関する題材や理科の実験など、他教科との関連を意識した題材が取り上げられている。

小中連携が特に重要な1年生では、巻末に「算数の確かめ」が設けられている。

(教科名 理科)

選定教科用図書 2 者

東京書籍

観察や実験の手順動画などが充実している。また、その動画は結果まで示さず、自ら生徒に確かめさせることを意識して構成されている。また、現行のものと違い、「問題発見、レッツスタート！」が各節すべてに配置されず、重点をかける節のみの設定となった。探究を意識した構成に変更されている。学習の内容整理などにより、振り返りができ、発展的な内容やさらに知りたい気持ちを喚起させる工夫がなされている。さらに、デジタルコンテンツと I C T 活用を促す工夫がある。

啓林館

「探究活動× I C T」を特徴とし、探究活動を通して学ぶ構成が意識されている。実験などを掲載しているページでは、生徒が自立して自ら取り組みやすい紙面構成、情報量になっていて、生徒にとっても取り扱いやすいものになっている。また、教科書が横長に作られている。十分な情報と適切な余白が確保されており、支援を要する生徒にとっても取り組みやすい。さらに、二次元コードなどを利用した「見るコンテンツ」から記録、編集ができる「使えるコンテンツ」になっている点も、個別最適化の学びやタブレット端末の活用のしやすさを支えており、学習効果が高いと考える。

その他の教科用図書 その他の発行者

大日本図書

資質・能力を育成するための探究の過程において、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「振り返ろう」というステップを踏んで、学習を意識的に進められるように設計されている。また、各学年で特に重視する項目が、1 年生が「自然の事物・現象に進んで関わり、その中から問題を見いだす」2 年生が「解決する方法を立案し、結果を分析して解釈する」、3 年生が「探究の過程を振り返る」となっており、段階を踏まえるようになっている。

学校図書

教科書のページの内容を、ウェブページとして参照することができる。また、動画教材や操作系教材もあるので、視覚的な効果も期待される。なお、生徒の多様な読み方に対応しており、総ルビ、分かち書き表示や計 6 ヶ国語にも対応しており、音声読み上げや色調反転などのユニバーサル・デザイン化が進んで

いる。

教育出版

デジタルコンテンツの量が、令和3年度版の教科書と比べると65点から348点に増加した。それにより、1人1人が紙面だけではなくデジタル機器を用いることで、より学びやすく個別最適化な学習を進めることができるように設計されている。

(教科名 音楽)

選定教科用図書 2者

教育出版

歌唱の分野では、混声4部合唱など難易度の高い楽曲が複数掲載されている。また、歌唱と関連づけて指揮法の学習もできるようになっており、それも段階を追って進められるようになっている。鑑賞の分野では、各国の伝統音楽の項目で工夫された教材があり、アクティブな活動をしながら学習できる教材がある。

教育芸術社

歌唱の分野では、発達段階に応じた使いやすい難易度の楽曲が扱われている。また、主に鑑賞の分野では、日本の伝統芸能が重要視されている。ポピュラー音楽もたくさん使われており、著名人が取り上げられていたり、写真がたくさん掲載されていたりするなど、中学生が興味をもちやすいように作られている。創作の分野では、リズムから旋律、その後に和音など、系統的に学習できるようになっている。

(教科名 音楽 器楽合奏)

選定教科用図書 2者

教育出版

ギターの練習曲が多数掲載されている。リコーダーの項目では楽譜だけでなく、息の使い方も丁寧に学習できるようになっている。中学生が興味をもちやすいような楽曲がいくつか取り扱われている。世界の楽器の項目では、SDGsと関連付けて探究的な学習ができるように作られている。

教育芸術社

アンサンブルで使える楽譜が豊富である。打楽器について、分類や写真が掲載されているだけでなく、奏法まで掲載されている。さまざまな種類の楽器が一覧になった「楽器の図鑑」の項目がある。また、バンドスコアが取り扱われていたり、表紙の裏にもポピュラーのジャンルのアーティストが掲載されていたりなど、中学生が興味をもちやすいように作られている。

(教科名 美術)

選定教科用図書 2 者

開隆堂

発達段階に応じて、領域や内容がバランスよく取り扱われている。作品の画像が大きく、読みやすい構成になっている。どの分野もほぼ等量である。ページ数が多く参考にしやすい。ユニバーサル・デザインの考えに基づいたフォントを使用しているため、多くの生徒にとって読みやすい文字になっている。伝統文化や地域性への配慮がなされている。美術の用語について簡単な解説がついている。また、参考作品へのコメントが詳しく記載されており、技法の解説も多くなされている。二次元コードで発展的な内容コンテンツあり。表紙に凹凸感があり作品の材質感のようなものを感じられる。

光村図書

発達段階に応じて、領域や内容がバランスよく取り扱われているだけでなく、現代的な課題をふまえた美術学習課題がある。具体的な問いを示すことで、言語化やグループでの対話がやりやすくなっている。吹き出しを各種用いることで、鑑賞・制作に有効的な効果がある。安全指導においても、具体的なポイントが掲載されている。ユニバーサル・デザインの考えに基づいたフォントを使用しているため、多くの人に読みやすい文字になっている。また、作品名や指導のポイントと通常の内容とで書体を変えていることも、読みやすい構成になっている。パラリンピック（ピクトグラム表示）などインクルーシブ的なデザイン学習も充実している。生徒作品の制作過程がわかりやすく取り上げられているため、作品制作のヒントとなりやすい。特に美術を苦手とする生徒には、毎時間の到達点がわかりやすくなっている。他教科とのつながりも示されている。1つの題材に対して複数の作品が取り上げられており、鑑賞の広がり期待できる。SDGsに関連した題材があり、17目標のマークを示した学習内容がある。学習を支える資料として、別冊で様々な素材や技法が紹介されている。

その他の教科用図書 その他の発行者

日本文教出版

発達段階に応じて、表現や鑑賞の活動の内容がバランスよく取り上げられている。ユニバーサル・デザインの考えに基づいたフォントを使用しているため、多くの人に読みやすい文字になっている。3学年の発達にあわせた3冊構成（1年 2・3年上 2・3年下）で内容量も多い。1つの題材に対して複数の生徒の作品が取り上げられており、身近な内容として発想の広がりが期待できる。

（教科名 保健体育 ）

選定教科用図書 2者

大修館書店

各単元の流れが、自身の日常生活に生かすところがゴールとして構成されており、各単元の資料やコラムなど、生徒の興味・関心を引き出す工夫が多い。情報量もバランスよく掲載されており、基本的な知識だけでなく、発展的な内容まで触れることができるよう、展開されている。保健の学習内容から、体育分野へつなげていけるような内容も掲示されており、弾力的な学習も行いやすい。単元ごとの振り返りなども、二次元コードからタブレットで行え、教科書だけにとどまらず、多様な授業展開が可能となり、授業を広げて行うことができる。

G a k k e n

各単元見開き1ページで、学習課題をつかむきっかけとなる「ウォームアップ」、学習内容を深める「エクササイズ」、仲間と協働したり自分で探究していく「学びを生かす」3段階で構成されており、生徒が学習内容をつかみやすいサイクルが掲載されている。導入内容が多様で、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。実践的な問題解決に向かえるように、各単元で現代的な社会問題が取り上げられていたり、資料や動画などに触れられる「章デジ」など、学習をサポートする補填的な学習も数多く掲載されている。

その他の教科用図書 その他の発行者

東京書籍

各単元見開き1ページで展開されており、導入→展開→広げる・まとめというシンプルな流れで展開されている。文章量としては、他社と比較すると少ないものの、重要なキーワードなどはおさえており、各時間の学習のまとめが生徒の理解を深めたり、内容を発展させて探究させたりなど、特に力を入れて構

成されている。章の中で「発展」というページがあり、その章に関する健康や運動・スポーツに関する社会問題などが掲載されており、より発展的な学びが可能である。

大日本図書

ページの右側では導入やねらいの説明、学習内容について触れられており、左側では表や写真など資料が掲載されており、生徒が各単元の流れをつかみやすい。小学校から高等学校での系統的な学びを意識している。各単元の内容を深める様々なツールも用意されており、生徒の学びを深めることができる。

(技術・家庭 技術分野)

選定教科用図書 2 者

東京書籍

技術の見方・考え方を働かせた深い学びになるように、「最適化の窓」を導入し、技術による問題解決が発達段階に応じて進めることができるように配慮されている。学習の意義や大切さが伝わり、生活や社会で生きる知識・技能が身につくよう配慮されており、生徒の学びに対する興味・意欲を高めるように、写真やイラストで分かりやすく学べる資料が充実している。Society5.0 と関連する技術を紹介するなど、新しい時代の授業づくりに適切な教科書になっている。

開隆堂

各内容の適切な箇所に二次元コードを記載することによって、個別最適な学びが実現できるように配慮され、また協働的な学びなど、多様な学習に対応できるよう学習コンテンツや各自で考えられる活動が充実し工夫されている。持続可能な社会の構築と技術分野にはかかわりがあることについて、各内容で「環境」マークを使い、SDGs についても考えられるようになっている。教科書紙面の随所に、「地域とのつながりのある技術」を紹介し、技術が生活や社会の様々なところにあることに気づけるよう工夫されている。

その他の教科用図書 その他の発行者

教育図書

学力の三つの柱に対応し、実習題材に取り組みながら「技術の見方・考え方」が育まれるようになっており、3 観点に沿って学習を振り返ることができ、指導計画や評価がしやすい。実習題材の基本的な技能が参照できるように、別冊

が付属されており、効果的に学べるように工夫されている。現代社会の問題を自ら考え、解決に取り組む力を育成する構成になっている。技術分野の学習に必須の内容が系統的に提示されており、生徒の理解と習得が図れるように、資料性や題材例に富んだ教科書となっている。

(技術・家庭 家庭分野)

選定教科用図書 2 者

東京書籍

これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てることができるよう、食生活の内容を教科書の前半に位置づけ、興味・関心を高める構成となるように工夫されている。

内容や配列など全体にわたり、小学校での学習を引き継いで積み重ね、高等学校へのスムーズなつながりを促す工夫が施されるなど、学習の系統性を踏まえた形となっている。資料や実習例の充実で、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができるようになっている。

開隆堂

教科書を活用しながら、「主体的・対話的・深い学び」で学習が身につくようになっている。各分野の学習の目標が明確となった構成で、生活の身近な疑問や科学的根拠が視覚的にわかる体験的な学習で、より深い理解ができるようになっている。防災について、特設ページを設けて日常的な備えの重要性など防災教育への配慮がなされている。SDGsの目標と各分野の関連を示し、生命や自然、環境に対する意識を高めるよう配慮されている。

その他の教科用図書 その他の発行者

教育図書

全体を通して、学習指導要領の内容の漏れがなく、生徒の興味関心に沿って構成されている。小学校からのつながりや、他教科への広がりなども意識されており、より深い学びが実現できるよう工夫されている。デジタルコンテンツも充実しており、様々な学習状況に対応した学びが実現しやすい構造になっており、「つなぐ、つながる」をテーマに、生活をよりよくしていく意欲をかき立てることができる生徒目線の教科書となっている。

(教科名 英語)

選定教科用図書 2 者

開隆堂出版

生徒の学力向上を実現する上で、小学校の内容を定着させる繰り返し学習や、フォントを1年前半・後半で変えるなど、小学校とのスムーズな接続が意識されている。またプログラムの流れが、とびらで学習の見通しをたて、Scene でプログラムの基礎基本を習得、Think で題材内容について考えたのち、Retell で自分の言葉で本文を語る、まとめとして Interact (Action) において自己表現を行う、といった系統だてられたものとなっており、4 技能を満遍なく学習できる内容となっている。まとめの Interact (Action) は、場面設定や課題設定がユニークなものが多く、生徒たちが楽しみながら自己表現を行うことができるものとなっている。

三省堂

教科書内容として、取り扱っている内容が豊富（1年生では「災害の備えと非常食」、2年生では「安全できれいな水」、3年生では「折り鶴と平和への願い」「平等って何？」など）で、社会問題や人権課題など他教科を関連させることができるものが多い。また、教師用指導書には、進度に合わせた評価を行うためのワークシート、Talk の内容に類似したロールプレイシート、Read と類似した場面と内容のテキストなど、評価のための素材が豊富に収録されている。

その他の教科用図書 その他の発行者

東京書籍

1年生の前半（5 単元）はそれぞれの単元の終わりに、Sounds and Letters が設けられているため、別教材を買わずとも音声と文字の関係性を学ぶことができる。1年生後半から3年生にかけては、単元の終わりに4技能5領域を習得できるような活動内容がまんべんなく取り入れられている。リーディングの長文は、十分に練習できる長さになっており、内容も深く Read から Think に結び付けられる。また、それぞれの単元で取り扱う内容が、人権、平和、動物保護、国際協力、SDGs 等多義に渡っている。

教育出版

1つのパートで多くの新出文法を取り扱っている。例えば1年生 Lesson1 Part1 では、be 動詞、一般動詞、一般動詞の否定文を取り扱っている。ただし、全てのパートで新出文法を取り扱っているとは限らない。海外の標識や、数え

方（日本語でいう「正」の字を用いた数え方）、ジェスチャーや手話など、日常生活における文化の違いにおいて、多義に渡って紹介している。また、教科書のデザインは、全体的にシンプルで、ポイントや本文等が見やすい。

光村図書

本文のストーリーが3年間を通したものになっており、生徒の興味を引き付けやすい。現在使用しているところ、生徒からも「続きが気になる」という声が上がっている。デジタル教科書も充実しており、単語や本文の音声を聞けたり、本文の映像を見たりできるほか、ICTの活用方法も勉強することができる。ただ本文の題材に、人権問題に関するものが少ない。そのため、他教科や総合的な学習の取組と関連付けるのが難しい。

啓林館

1年生では、肯定・否定文をUnit1で、疑問文をUnit2で学習する。また、Let's talk, Let's listen, Let's write が各Unitの合間に用意されており、教員は多様な活動を行うことができる。題材については、1年生のうちから環境問題を取り上げたものを扱っているなど、全学年を通してSDGsに関する取組と関連付けられる題材が数多く揃っている。表紙・中身ともに、デザインがシンプルで落ち着いた。

（教科名 道徳 ）

選定教科用図書 2者

東京書籍

ユニット「いじめのない世界へ」を全学年に設置。また、外国人の人権問題や「子どもの権利条約」など、人権についての教材やコラムが用意されている。3時間分の指導時間で、いじめをしない・させない心を育むことになっている。「いのちを考える」も大きなテーマとして挙げられている。また、各学年に現代的な課題を題材とした教材も複数配置されている。教材の冒頭に主題となるテーマが示されており、生徒たちは見通しを持って考えることができる。教材の後ろには、「考えよう」「見つめよう」というポイントが示されている。これらを活用することにより、「生徒たちが考え、議論する道徳」が進めやすくなる。また、巻末には心情円が付属しており、話し合い活動に活用できる。

日本文教出版

発達の段階を踏まえながら、家庭、学校、社会など幅広い分野の内容がバラ

ンスよく掲載されている。いじめ問題を重点的に取り上げ、複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「いじめと向き合う」を年間複数配置し、集中的かつ継続的に考えられる。目次には様々なマークがあり、テーマや学習内容が一目で分かるようになっている。人物教材も増えており、「いま」を生きる人たちから「人間の生き方」について考えを深めることもできる。教師用指導書に付属しているデジタル指導書には、板書例や指導案等が付属している。また、ワークシートには設問が明記されていないため、教師オリジナルの発問を設定したり、学校や学年、生徒の実情に合わせて変えたりすることができるようになっており、授業工夫が反映されやすい。

その他の教科用図書 その他の発行者

教育出版

「いじめ（人権問題）」「持続可能な社会の実現」「生命の尊さ」など幅広いテーマを扱っている。学びを深めるために、個人で考え、クラスで共有し、考えを深めるプロセスがわかりやすく明記されている。読み継がれてきた定番教材も多い。複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを設定して、現代的な課題について重層的に深められる。

光村図書

「差別を許さない」、「尊厳を守る」、「多様性を認める」、「他者を尊重する」というような、人権に対する感覚を養うため、様々な教材が用意されている。「情報モラル」「キャリア」など、多様な現代的課題について考えられる工夫もされている。道徳教材の中で長く読み継がれてきた定番教材も多く掲載されている。挿絵についても、有名人の写真や手書きの挿絵、資料も様々で、目を引くものが多い。

G a k k e n

「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」という考えを深める4ステップに沿って、道徳授業の学び方を冒頭で示している。「いのちの教育」「いじめ防止」を全学年の重点項目としている。また、題名の下には考えるヒントが書かれており、生徒たちが見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。「SDGs」、「多様性」、「キャリア」という現代的課題をより深く学べるユニット学習があり、人権学習とも絡めて指導しやすい。

あかつき教育図書

いじめ・人権に関わる題材は、各学年5～8題材用意されている。生命尊重

といじめ防止に関わりの深い内容項目の配当時間が考慮されている。また、読み継がれてきた定番教材、感動教材、多様な現代的課題を扱う教材を精選している。目次とは別にテーマ別にまとめられたページが設定されている。全ページUDフォントが使われている。

日本教科書

自分自身の周りに興味や関心を持って、道徳的価値について考えを深めることのできる内容になっている。また、「いじめ防止」、「情報モラル」、「人権・福祉・ジェンダー」といった現代的な課題の取扱いもされている。題材の最終ページに「考えよう」「深めよう」といった、思考・探究を促す問いが設定されている。Well Being カードが巻末にあり、対話のきっかけづくりの仕掛けがある。

2024 年 3 月 12 日

教育委員会 教育委員 殿

日本出版労働組合連合会

教科書対策部

部長



2024 年度における公正な教科書採択のために（陳情）

【陳情書の趣旨】

日頃の教育への貢献に敬意を表します。

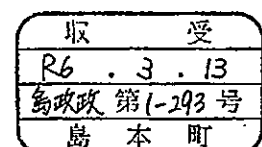
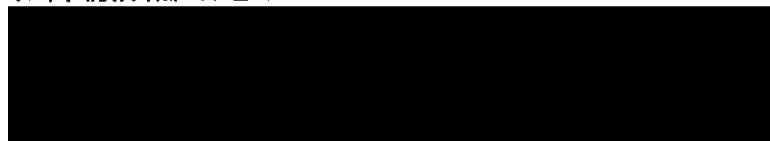
貴職におかれましては、2024 年度の中学校教科書採択に向けて、採択要綱の作成に取り組まれていることと存じます。つきましては採択過程の改善について陳情いたします。私たちの本意を真摯に受け止め、2024 年度の教科書採択要綱に取り入れていただくよう強く要望いたします。

主なポイントは次のとおりです。

- 1、教科書採択のあらゆる過程において公開性を徹底すること。
- 2、実際に教科書を使用する教員の意見を最大限尊重すること。
- 3、調査研究委員会等に現場の教員を配置し、その意向を報告書に反映すること。
- 4、採択は、最終的に決定する教育委員の説明責任を明確にする方法で行うこと。
- 5、法定展示以外にも独自の展示会を開催し、保護者・住民等の意見を広く募集すること。

【本件連絡先】

日本出版労働組合連合会 教科書対策部



【陳情書】 2024(令和 6)年度の教科書採択は、以下の内容を取り入れて実施すること

1、教科書採択のあらゆる過程において公開性を徹底すること

- (1)採択を決定する教育委員会をはじめ、調査研究委員会、選定委員会等を公開で行うこと。
- (2)上記の場において、希望者が全員傍聴できるよう、最大限の努力を行うこと。傍聴者が会場に入りきれない場合は別会場を用意して審議内容の中継する、インターネットによる同時動画配信を行うなどの工夫を行うこと。
- (3)教科書発行者名は「A社」「B社」などとせず、実名を出して審議すること。
- (4)採択に関係するすべての文書（教育委員会の会議録、調査研究委員会の調査研究報告書、選定委員会等の選定理由書など）は会議後、9月1日を待つことなく、可及的速やかに公開すること。

2、実際に教科書を使用する学校および教員の意見を最大限尊重すること

- (1)見本本の回覧については学校に留置される日数を十分確保し、教員（非常勤講師、免許外教員等を含む。以下同）が勤務校で調査研究できるよう保障すること。
- (2)教員が勤務時間内に展示会に行く場合は職免扱いとし、不利益扱いをしないこと。
- (3)学校票を実施して、教員が採択を希望する教科書が明示されるようにするとともに、その意向は教育委員会による採択の際に、最大限尊重すること。

3、調査研究委員会等に現場の教員を配置し、その意向を報告書に反映すること

- (1)調査研究委員会および選定審議会（委員会）に、学校の管理職だけでなく、実際に教科書を使って授業を行う教員を適切な人数配置し、その意見を報告書に反映すること。
- (2)調査研究報告書に、採択地区内の各学校の意向を記載すること。選定審議会（委員会）はその意向を最大限尊重して選定理由書を作成すること。
- (3)採択地区内の保護者・住民から公募により委員を委嘱すること。その際、文書による審査及び面接を行うなど、客観的で公正な基準を設け、それを事前に公表すること。

4、採択は、最終的に決定する教育委員の説明責任を明確にする方法で行うこと

- (1)教育委員会で採択の決定を行う際は、調査研究委員会及び選定審議会（委員会）の報告に示された選定・推薦を尊重し、それらに特段の問題のないかぎり、これに反する決定は行わないこと。
- (2)これらとは異なる決定を行う場合は、その理由を表明すること。
- (3)は1種ごとに、挙手等、各委員の意思が明示的に表示される方式で行い、無記名投票は行わないこと。

5、法定展示以外にも独自の展示会を開催し、保護者・住民等の意見を広く募集すること

- (1)法定展示会
 - ①できるだけ多くの保護者、住民等の閲覧を可能にするため、公民館等の閉館時間（おおむね午後9時）程度まで開催すること。
 - ②土・日曜日および祝日も開催すること。
 - ③会場にアンケート用紙を設置して保護者、住民等の意見を聴取し、教育委員会に報告すること。
- (2)法定展示会以外の展示会
 - ①保護者・住民等が教科書内容を知ることができるようにするため、法定展示以外にも独自の展示を行うこと。
 - ②開催日およびアンケートについては、法定展示同様とすること。
 - ③採択終了後も住民が容易にアクセスできる場所で通年展示を行うこと。

以上

中学校教科書採択方式に関する要請書

平素より、子どもたちの健やかな成長発達を保障する、教育条件の整備にご尽力されていることに敬意を表します。

今年は、中学校の教科書採択が行われます。また、2019年度から使われている道徳の教科書が3回目の検定を受け、採択に付されます。

教科書採択については、現行制度では「教育委員会が教科書を採択する」ことになっていますが、子どもたちによりよい教科書を手渡すためには、毎日、子どもたちと一緒に教科書を使って授業をすすめ、子どもたちが理解する道筋や、つまずきやすい内容・場面などを熟知している教員の意見を十分にくみとった上で採択が行われることが不可欠ではないでしょうか。

日本政府も批准しているＩＬＯ・ユネスコ「教員の地位に関する勧告」は、「教員は、児童・生徒に最も適した教材および方法を判断するために格別の資格を認められたものであるから、承認された計画の枠内で、教育当局の援助を受けて教材の選択と採用、教科書の選択、教育方法の適用について不可欠な役割を与えられるべきである」と述べています。主権者である保護者や地域住民の声も、十分に反映される必要があります。

以上の観点から、来年度の教科書採択にあたり、教員および保護者・地域住民の声を十分に反映した教科書採択が行われるよう、次のように要請します。

（要請項目）

1. すべての教科書採択手順を公開して市民に開かれた採択を行ってください。
2. 教科書の調査研究にあたり、一部の教員を調査委員にするだけでなく、各学校の教員の意見も集約し、採択のための正式な資料として位置付けてください。
3. 教科書展示会でのアンケートも採択の場で広く取り上げ、議論してください。
4. より多くの保護者、地域のみなさんが教科書展示会に出向いて意見を出せるよう
 - （１）多くの市民が気軽に立ち寄れるよう、また、十分な閲覧スペースが取れるよう、駅近くの公共スペースを活用するとともに、勤労者が仕事帰りに行けるよう、平日の終了時刻を延長するなど多くの市民が参加できるよう工夫してください。
 - （２）文部科学省の「教科書採択の状況に係る調査結果」でも例示しているように、見本本を各学校に巡回させることで、各学校の教員が調査研究を行うとともに、各学校の保護者・地域住民も見本本を手にする機会を確保してください。
 - （３）教科書展示会においてコピーを取れるように、または写真撮影ができるようにしてください。
 - （４）市の広報やＨＰでの案内だけではなく、小中学校の学校だよりやＨＰにも掲載するなど広く市民・保護者への周知を図ってください。
5. 採択に関わる教育委員会会議を公開し、傍聴できるようにするとともに、会議終了後遅滞なく採択結果と採択理由を公表してください。

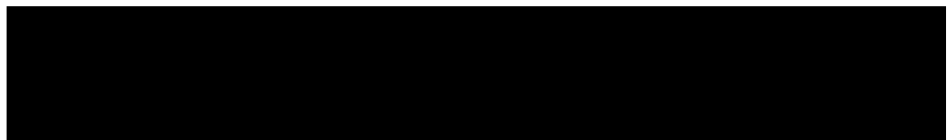
以上

2024年4月5日

団体名 子どもと教科書大阪ネット 21

住 所

連絡先





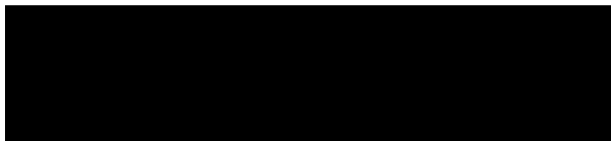
〒618-8570

島本町桜井 2 丁目 1 番 1 号

島本町役場 1 階

島本町教育委員会 御中

子どもと教科書大阪ネット 21



2025 年度使用中学校教科書の採択に関する要望書と公開質問状

2024 年 4 月 20 日

教育委員会 教育長 様
教科用図書選定委員会 様

子どもたちに渡すな！あぶない教科書 大阪の会

貴教育委員会の教育への日頃のご尽力に敬意を表します。

さて2025年度から使用される中学校教科書の採択に向けて、貴教育委員会も準備作業を進めておられることと存じます。3月の末に公表された文部科学省の教科書検定結果では、道徳教科書において愛国心教育を強化しようとする記述が多く、社会科においては日本の戦争加害の事実を曖昧にする記述が増えました。また、全ての出版社で「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」を「日本固有の領土」と記述もされました。しかし、これら三つの領土問題は、かつての日本の侵略戦争と深く関わっているという歴史的背景があります。それを教えずに日本政府の主張だけを教えれば、相手国への反感を子どもたちに植え込むことにしかありません。

また、2022年11月には藤井寺市で教育委員を巻き込んだ教科書汚職事件が発覚し、元校長の有罪判決、教育委員の辞職、さらには全国で初めて教科書採択をやり直す事態にまで至りました。このような事態に至った要因として、教育委員をはじめ採択に関わる関係者が教科書会社と癒着していただけでなく、市教委が非公開の選定委員会の議事録を作成せず、市民に完全に閉ざされた環境の中で選定委員会「答申」が作られていたことがあげられます。採択過程を広く市民に公開することが、不正を防ぐ大きな抑止力になることが改めて明らかになりました。藤井寺市での教科書汚職事件を他人事してはなりません。教科書採択の公正性、透明性が十分確保されているかどうか、再度点検することが必要です。

そこで私たちは、日本国憲法のスリットである基本的人権、平和、民主主義、そして近隣諸国との友好関係を深める観点から、公正かつ透明性のある教科書採択が行われるよう貴教育委員会に要望するとともに、以下の公開質問への回答をお願いいたします。なお、貴教育委員会からの回答は公表を予定しています。ご多忙と存じますが、回答を5月20日までにお願いします。(回答用紙は別紙)

【要望書】

1. 採択関係者が「利害関係者」でないことを厳密にチェックしてください。

教育委員、選定委員、調査員については、「利害関係者」でないことを、事前に厳格にチェックしてください。2019 年の小学校道徳採択から、大阪市では教育委員からも「利害関係者ではない」ことを宣誓する「誓約書」の提出を義務づけました。貴教育委員会でも大阪市と同様に教育委員からも「誓約書」を義務づけてください。

2. 人権、平和、共生など日本国憲法のスリットを尊重した調査研究と採択を行ってください。

貴教育委員会が作成する「教科書を調査研究する観点」には、従来から「人権の取り扱い」が項目に含まれています。大阪では、部落問題や在日外国人問題、しょうがい者問題などさまざまな人権に関わる問題について、教育課題としても積極的に取り上げられてきたところです。道徳の教科書採択に当たっても、人権、平和、共生など日本国憲法のスリットを重視する観点から調査研究をおこない、そのような観点から評価の高い教科書を採択してください。

3. 偏狭なナショナリズムに繋がる「愛国心」を調査の観点に入れないでください。

教育基本法には、「愛国心」に繋がる目標がありますが、そこには「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」が同時に明記され、偏狭なナショナリズムに陥ることがないように求めています。しかし、中学校教科書検定結果を見れば、「日本文化賛美」「日本人はすばらしい」と言った内容がことさら強調されている教科書があります。これらは偏狭なナショナリズムにつながっていくものです。調査の観点に偏狭なナショナリズムに繋がる「愛国心」を採択基準に入れないでください。

4. 「考え、議論する道徳」を重視する調査の観点を設定してください。

新学習指導要領では、「考え、議論する道徳」が強調されています。しかし、道徳教科書の中には、教材の最後に「学ばせたい徳目」に誘導する設問を設けて、子どもたちの学びを特定の価値観に誘導しようとするものがあ

ります。子どもたちは、自由に発想し、幅広く考え、意見交換する中で自分の考えを深めていきます。自由な発想は、「考え、議論する道徳」の基になるものです。特定の価値観に誘導する教科書はそれらに逆行しています。

5. 採択にあたっては子どもの実態をもっともよく知る教員の意見を尊重してください。

ILO・ユネスコの「教員の地位に関する勧告」には、「教員は生徒に最も適した教材および方法を判断するための格別の資格を認められたものであるから、承認された計画の枠内で、教育当局の援助を受けて教材の選択と採用、教科書の選択、教育方法の採用などについて不可欠な役割を与えられるべきである。」と明記されています。「教員の意見を尊重した採択」は、国際基準です。従って、教員が調査員をつとめる「調査員報告」や「学校意見」を集約する形で選定委員会「答申」を作成し、それに基づいて採択してください。

6. 選定委員会「答申」や、「調査員報告」、「学校意見」では教科書の長所・短所を記述するようにしてください。

いうまでもなくどんな教科書にも長所と短所があります。しかしながら近年、「答申」や「調査員報告」、「学校意見」に「特長（すぐれた点）」しか書けない形式にしている地域があり、これでは教員の意見は伝わりません。また優劣がわからないため、教育委員が正しい判断もできません。

7. 選定委員会「答申」では、専門的な調査研究の結果として「順位付け」「絞り込み」を行ってください。

一部マスコミが「文科省は採択にあたっては教員による順位付けや絞り込みを禁止している」と報じ、また同じような解釈をしている一部の教育委員会がありますが、これは誤りです。下村文科大臣(当時)は、国会答弁で「(教科書採択は) 教員や保護者を初めとする調査員による綿密な調査研究を行った上で、適切に行われる必要がある」(2015. 4. 22)と述べ、文科省初等中等教育局長も「調査研究の結果として何らかの評定を付し、それも参考に教科書の採択を行うことが不適切だというものではない」(同日)と述べています。選定委員会「答申」の「順位付け」や「絞り込み」は、教育委員会での公正で公平な採択を行うためにも必要な資料となるものです。

8. 選定委員会の議事録(発言者名を入れた)を作成し、市民に公開してください。

大阪府内では、発言者名を入れた選定委員会議事録を作成している教育委員会はまだまだ一部にとどまっています。しかし、藤井寺市での教科書汚職事件の教訓は、教科書採択が公正で民主的な手続きで実施されるためには、採択過程の透明性を高めることが不可欠だということです。また、教育委員会での議事録に発言者名を明記していなかったことも、教育委員の甘い認識を生みました。選定委員会や教育委員会議の発言者名入りの議事録を作成することは、採択の透明性を確保するために絶対に必要なことです。

9. 採択教科書を決める教育委員会会議は、傍聴希望者全員が傍聴できるように配慮してください。

近年、教科書採択には市民の関心が高く、傍聴希望者が増えています。しかし、採択会議は教科書会社も来るので、抽選になると傍聴できない市民が多くなります。市民に開かれた公平・公正な採択のためにも、市民の傍聴を保障することは大切です。市民の傍聴人数の制限をやめてください。傍聴申し込みを事前申請や書類提出を必要としているところは、やめてください。

10. 採択会議の傍聴者には、選定委員会答申など採択会議の審議内容がよくわかる資料を配布してください。また、終了後に配布資料を回収するのはやめてください。

傍聴者に配布された資料は公開されたものであり、回収する意味はありません。

11. 要望書や市民アンケートに書かれた市民の意見も採択の参考にしてください。市民の要望書やアンケートの意見は、必ず選定委員や教育委員にも見せるようにしてください。

一部の市では教育委員会事務局が、市民の意見を選定委員や教育委員に一切見せずに採択を進め、その結果子どもたちにはふさわしくない教科書が採択されてしまいました。採択権限は教育委員会にあるとしても、選定委員会や教育委員会には、公平・公正な採択のために広く市民の意見に耳を傾ける謙虚な姿勢を持ってもらいたいと考えます。

以上

【公開質問状】

1. 貴教育委員会の今年の採択方法（公開度も含めて）は、昨年とは異なる 2020 年の中学校採択から変更がありますか。
 - ①ある
 - ②ない
2. 教科書の調査研究に各学校・教員はどのように関わっていますか。
 - ①学校意見を集約している。
 - ②教員の意見を集約している。
 - ③教員研究会の意見を集約している。
 - ④意見集約を行っていない。
3. 選定委員会「答申」や「調査員報告書」はどのような形式で作成されるのでしょうか。
 - ①各社の長所と短所を記述している。
 - ②各社の特長（すぐれた点）をまとめている。
 - ③その他（ ）
4. 選定委員会の「答申」はどのような方法で行う予定ですか。
 - ①順位付けをして答申する。
 - ②何社かに絞り込んで答申する。
 - ③全社の長所と短所を文書表記して答申する。
 - ④全社の特長（すぐれた点）を文書表記して答申する。
 - ⑤その他（ ）
5. 採択において選定委員会「答申」を重視しているのかどうか、その位置づけを教えてください。
 - ①選定委員会「答申」を重視する。
 - ②選定委員会「答申」を参考にする。
 - ③選定委員会「答申」には一切左右されない。
6. 教育委員会議では、どのような方法で採択をする予定ですか。
 - ①話し合いによって採択する。
 - ②記名投票(挙手)で採択する。
 - ③無記名投票で採択する。
7. 教育委員会議の会議録作成について教えてください。
 - ① 発言者名入りの議事録を作成している。
 - ② 発言者名のない議事録を作成している。
 - ③ 議事録は作成していない。
8. 選定委員会の会議録作成について教えてください。
 - ① 発言者名入りの議事録を作成している。
 - ② 発言者名のない議事録を作成している。
 - ③ 審議のおおまかなメモを作成している。
 - ④ 議事録は作成しない。
9. 選定委員会「答申」の公開はいつの時点ですか？
 - ① 「答申」ができた時点で公開請求があれば公開する。
 - ② 「答申」は採択日以降に公開する。

10. 教育委員協議会（採択の教育委員会の前に開かれるもの。名称は教育委員会によって異なる場合がある）は秘密会としておこなわれています。採択過程の透明性の確保の観点から、協議会も議事録を作成すべきだと考えますが、どのようにされていますか。
- ① 協議会の議事録を作成している。
 - ② 協議会の議事録はないがメモは作成している。
 - ③ 協議会の議事録もメモも作成していない。
 - ④ 協議会のような会議は行っていない。
11. 市民が教科書展示会で教科書を読み、意見を書きやすいような工夫をしていますか。（複数回答可）
- ① 会場を複数設置している
 - ② 休日も開催している。
 - ③ 自由記述をしやすいようにしている。
 - ④ その他（ ）
12. 市民からの要望書や市民アンケートの意見を、選定委員や教育委員に見せていますか。
- ① すべて見せている。
 - ② 見せていない。
 - ③ 一部は見せている（見せているもの： ）
13. 採択の教育委員会議の傍聴者について
- （1）2023年の小学校教科書採択時、傍聴人数はどのように設定されましたか？
- ① 特に制限せず、希望者全員を入れる方向で大きい会場を用意した。
 - ② 通常の教育委員会議と同様に制限し抽選をした。
 - ③ 人数を制限し抽選したが、もれた希望者にはサテライト会場を用意した。
- （2）傍聴希望者の手続きについて
- ① 当日、会議開始前に申し込み
 - ② 事前に申し込みを必要としている
 - ③ その他（ ）
14. 傍聴者に配布した資料の取扱いについてどのようにされていますか？
- ① 配付資料は回収していない。
 - ② 配布資料は回収している。
 - ③ 配布資料は回収しているが、後に希望者には配布する。
 - ④ 傍聴者には資料を配付していない。
15. 情報公開請求に対して、市民アンケート（教科書アンケート）は公開されていますか。
- ① 名前、住所を含めて全て公開している。
 - ② 名前、住所以外は全て公開している。
 - ③ 名前、住所以外にも非公開部分があり、部分公開としている。
 - ④ 公開していない。
16. 今年度の中学校採択に関して、貴市の市長、教育長、教育委員に対して、教科書会社から何らかの接触・働きかけがありましたか？
- ① あった。
 - ② あったが、詳細ははっきりしていない。
 - ③ ない。

以上

ご協力ありがとうございました。

【送付先】 回答用紙をFAX、郵送、メールのいずれかで送付してください。

FAX番号

郵送先

メール

【回答者（教育委員会）】

教育委員会

質問 1		質問 9		
質問 2		質問 10		
質問 3		質問 11		
質問 4		質問 12		
質問 5		質問 13	(1)	(2)
質問 6		質問 14		
質問 7		質問 15		
質問 8		質問 16		

【送付先】回答用紙をFAX、郵送、メールのいずれかで送付してください。

FAX番号

郵送先

メール

【回答者（教育委員会）】

島本町

教育委員会

質問 1	②	質問 9	②
質問 2	① ② ③	質問 10	③
質問 3	③ 短所とまどいはいいが、 一部指摘はあり。	質問 11	① ②
質問 4	②	質問 12	①
質問 5	②	質問 13	(1) ① (2) ①
質問 6	①	質問 14	③
質問 7	①	質問 15	②
質問 8	③	質問 16	③

2025 年度使用中学校教科書の採択に関する要望書と公開質問状

2024 年 5 月 10 日

島本町教育委員会 教育長 横山 寛 様
教育委員 様
教科用図書選定委員会 様

教科書問題を考える北摂市民ネットワーク

貴教育委員会の教育への日頃のご尽力に敬意を表します。

私たちは北摂の4市1町（高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、島本町）で教科書問題に取り組んでいる市民団体です。これまで、子どもたちにより良い教科書を渡せるように取り組んでまいりました。

さて、2025年度から使用される中学校教科書の採択に向けて、貴教育委員会も準備作業を進めておられることと存じます。3月の末に公表された文部科学省の教科書検定結果では、道徳教科書において愛国心教育を強化しようとする記述が多く、社会科においては日本の戦争加害の事実を否定する記述が増えました。また全ての出版社で「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」を「日本固有の領土」と記述もされました。しかし、これら三つの領土問題は、かつての日本の侵略戦争と深く関わっているという歴史的背景があります。それを教えずに日本政府の主張だけを教えれば、相手国への反感を子どもたちに植え込むことにしかありません。

また、2022年11月には藤井寺市で教育委員を巻き込んだ教科書汚職事件が発覚し、元校長の有罪判決、教育委員の辞職、さらには全国で初めて教科書採択をやり直す事態にまで至りました。このような事態に至った要因として、教育委員をはじめ採択に関わる関係者が教科書会社と癒着していただけでなく、市教委が非公開で行われた選定委員会の議事録を作成せず、市民に完全に閉ざされた環境の中で選定委員会「答申」が作られていたことがあげられます。採択過程を広く市民に公開することが、不正を防ぐ大きな抑止力になることが改めて明らかになりました。藤井寺市での教科書汚職事件を他人事してはなりません。教科書採択の公正性、透明性が十分確保されているかどうかを、再度点検することが必要です。

私たちは、日本国憲法精神である基本的人権、平和、民主主義、そして近隣諸国との友好関係を深める観点から、公正かつ透明性のある教科書採択が行われるよう貴教育委員会に要望するとともに、以下の公開質問への回答をお願いいたします。なお、貴教育委員会からの回答は公表を予定しています。ご多忙とは存じますが、回答を5月31日までにお願いします。（回答用紙は別紙）

【要望書】

1. 採択関係者が「利害関係者」でないことを厳密にチェックしてください。

教育委員、選定委員、調査員については、「利害関係者」でないことを、事前に厳格にチェックしてください。2019年の小学校道徳採択から、大阪市では教育委員からも「利害関係者ではない」ことを宣誓する「誓約書」の提出を義務づけました。貴教育委員会でも大阪市と同様に教育委員からも「誓約書」を義務づけてください。

2. 人権、平和、共生など日本国憲法精神を尊重した調査研究と採択を行ってください。

貴教育委員会が作成する「教科書を調査研究する観点」には、従来から「人権の取り扱い」が項目に含まれています。大阪府では、部落問題や在日外国人問題、しょうがい者問題などさまざまな人権に関わる問題について、教育課題としても積極的に取り上げられてきたところです。道徳の教科書採択に当たっても、人権、平和、共生など日本国憲法精神を重視する観点から調査研究をおこない、そのような観点から評価の高い教科書を採択してください。

3. 偏狭なナショナリズムに繋がる「愛国心」を調査の観点に入れないでください。

教育基本法には、「愛国心」に繋がる目標がありますが、そこには「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」が同時に明記され、偏狭なナショナリズムに陥ることがないように求めています。しかし、中学校教科書検定結果を見れば、「日本文化賛美」「日本人はすばらしい」といった内容がことさら強調されている教科書があります。これらは偏狭なナショナリズムにつながっていくものです。調査の観点・採択基準に偏狭なナショナリズムに繋がる「愛国心」を入れないでください。

4. 「考え、議論する道徳」を重視する調査の観点を設定してください。

新学習指導要領では、「考え、議論する道徳」が強調されています。しかし、道徳教科書の中には、教材の前後に「学ばせたい徳目」に誘導する設問を設けて、子どもたちの学びを特定の価値観に誘導しようとするものがあります。子どもたちは、自由に発想し、幅広く考え、意見交換する中で自分の考えを深めていきます。自由な発想は、「考え、議論する道徳」の基になるものです。特定の価値観に誘導する教科書はそれらに逆行しています。

5. 採択にあたっては子どもの実態をもっともよく知る教員の意見を尊重してください。

ＩＬＯ・ユネスコの「教員の地位に関する勧告」には、「教員は生徒に最も適した教材および方法を判断するための格別の資格を認められたものであるから、承認された計画の枠内で、教育当局の援助を受けて教材の選択と採用、教科書の選択、教育方法の採用などについて不可欠な役割を与えられるべきである。」と明記されています。「教員の意見を尊重した採択」は、国際基準です。従って、教員が調査員をつとめる「調査員報告」や「学校意見」を集約する形で選定委員会「答申」を作成し、それに基づいて採択してください。

6. 選定委員会「答申」や、「調査員報告」、「学校意見」では教科書の長所・短所を記述するようにしてください。

いうまでもなくどんな教科書にも長所と短所があります。しかしながら近年、「答申」や「調査員報告」、「学校意見」に「特長（すぐれた点）」しか書けない形式にしている地域があり、これでは教員の意見は伝わりません。また優劣がわからないため、教育委員が正しい判断もできません。

7. 選定委員会「答申」では、専門的な調査研究の結果として「順位付け」「絞り込み」を行ってください。

一部マスコミが「文科省は採択にあたっては教員による順位付けや絞り込みを禁止している」と報じ、また同じような解釈をしている一部の教育委員会がありますが、これは誤りです。下村文科大臣(当時)は、国会答弁で「(教科書採択は)教員や保護者を初めとする調査員による綿密な調査研究を行った上で、適切に行われる必要がある」(2015. 4. 22)と述べ、文科省初等中等教育局長も「調査研究の結果として何らかの評定を付し、それも参考に教科書の採択を行うことが不適切だというものではない」(同日)と述べています。選定委員会「答申」の「順位付け」や「絞り込み」は、教育委員会での公正で公平な採択を行うためにも必要な資料となるものです。

8. 選定委員会の議事録(発言者名を入れた)を作成し、市民に公開してください。

大阪府内では、発言者名を入れた選定委員会議事録を作成している教育委員会は、まだまだ一部にとどまっています。しかし、藤井寺市での教科書汚職事件の教訓は、教科書採択が公正で民主的な手続きで実施されるためには、採択過程の透明性を高めることが不可欠だということでした。また、教育委員会での議事録に発言者名を明記していなかったことも、教育委員の甘い認識を生みました。選定委員会や教育委員会議の発言者名入りの議事録を作成することは、採択の透明性を確保するために絶対に必要なことです。

9. 採択教科書を決める教育委員会会議は、傍聴希望者全員が傍聴できるように配慮してください。

近年、教科書採択には市民の関心が高く、傍聴希望者が増えています。しかし、採択会議は教科書会社も来るので、抽選になると傍聴できない市民が多くなります。市民に開かれた公平・公正な採択のためにも、市民の傍聴を保障することは大切です。市民の傍聴人数の制限をやめてください。

10. 採択会議の傍聴者には、例年通り選定委員会答申など採択会議の審議内容がよくわかる資料(市民の要望書、市民アンケートを含む)を配布して下さい。

傍聴者に配布された資料は公開されたものであり、回収等しないでください。

11. 要望書や市民アンケートに書かれた市民の意見も採択の参考にしてください。市民の要望書やアンケートの意見は、必ず選定委員や教育委員にも見せるようにしてください。

一部の市では教育委員会事務局が、市民の意見を選定委員や教育委員に一切見せずに採択を進め、その結果子どもたちにはふさわしくない教科書が採択されてしまいました。採択権限は教育委員会にあるとしても、選定委員会や教育委員会には、公平・公正な採択のために広く市民の意見に耳を傾ける謙虚な姿勢を持ってもらいたいと考えます。

以上

【公開質問状】

1. 貴教育委員会の今年の採択方法（公開度も含めて）は、2020年の中学校採択から変更がありますか。
 - ①ある
 - ②ない
2. 教科書の調査研究に各学校・教員はどのように関わっていますか。
 - ①学校意見を集約している。
 - ②教員の意見を集約している。
 - ③教員の研究会の意見を集約している。
 - ④意見集約を行っていない。
3. 選定委員会「答申」や「調査員報告書」はどのような形式で作成されるのでしょうか。
 - ①各社の長所と短所を記述している。
 - ②各社の特長（すぐれた点）をまとめている。
 - ③その他（ ）
4. 選定委員会の「答申」はどのような方法で行う予定ですか。
 - ①順位付けをして答申する。
 - ②何社かに絞り込んで答申する。
 - ③全社の長所と短所を文書表記して答申する。
 - ④全社の特長（すぐれた点）を文書表記して答申する。
 - ⑤その他（ ）
5. 採択において選定委員会「答申」を重視しているのかどうか、その位置づけを教えてください。
 - ①選定委員会「答申」を重視する。
 - ②選定委員会「答申」を参考にする。
 - ③選定委員会「答申」には一切左右されない。
6. 教育委員会では、どのような方法で採択をする予定ですか。
 - ①話し合いによって採択する。
 - ②記名投票(挙手)で採択する。
 - ③無記名投票で採択する。
7. 教育委員会議の会議録作成について教えてください。
 - ① 発言者名入りの議事録を作成している。
 - ② 発言者名のない議事録を作成している。
 - ③ 議事録は作成していない。
8. 選定委員会の会議録作成について教えてください。
 - ① 発言者名入りの議事録を作成している。
 - ② 発言者名のない議事録を作成している。
 - ③ 審議のおおまかなメモを作成している。
 - ④ 議事録は作成しない。
9. 選定委員会「答申」の公開はいつの時点ですか。
 - ① 「答申」ができた時点で公開請求があれば公開する。
 - ② 「答申」は採択日以降に公開する。

1 0. 教育委員協議会（採択の教育委員会の前に開かれるもの。名称は教育委員会によって異なる場合がある）は秘密会としておこなわれています。採択過程の透明性の確保の観点から、協議会も議事録を作成すべきだと思いますが、どのようにされていますか。

- ① 協議会の議事録を作成している。
- ② 協議会の議事録はないがメモは作成している。
- ③ 協議会の議事録もメモも作成していない。
- ④ 協議会のような会議は行っていない。

1 1. 市民が教科書展示会で教科書を読み、意見を書きやすいような工夫をしていますか。（複数回答可）

- ① 会場を複数設置している
- ② 休日も開催している。
- ③ 自由記述をしやすいようにしている。
- ④ その他（ ）

1 2. 市民からの要望書や市民アンケートの意見を、選定委員や教育委員に見せていますか。

- ① すべて見せている。
- ② 見せていない。
- ③ 一部は見せている（見せているもの： ）

1 3. 採択の教育委員会議の傍聴者について

（1）2023年の小学校教科書採択時、傍聴人数はどのように設定されましたか。

- ① 特に制限せず、希望者全員を入れる方向で大きい会場を用意した。
- ② 通常のエデュケーション委員会と同様に制限し抽選をした。
- ③ 人数を制限し抽選したが、もれた希望者にはサテライト会場を用意した。

（2）傍聴希望者の手続きについて

- ① 当日、会議開始前に申し込み。
- ② 事前に申し込みを必要としている。
- ③ その他（ ）

1 4. 傍聴者に配布した資料の取扱いについてどのようにされていますか。

- ① 配付資料は回収していない。
- ② 配布資料は回収している。
- ③ 配布資料は回収しているが、後に希望者には配布する。
- ④ 傍聴者には資料を配付していない。

1 5. 情報公開請求に対して、市民アンケート（教科書アンケート）は公開されていますか。

- ① 名前、住所を含めて全て公開している。
- ② 名前、住所以外は全て公開している。
- ③ 名前、住所以外にも非公開部分があり、部分公開としている。
- ④ 公開していない。

1 6. 今年度の中学校採択に関して、貴町の町長、教育長、教育委員に対して、教科書会社から何らかの接触・働きかけがありましたか。

- ① あった。
- ② あったが、詳細ははっきりしていない。
- ③ ない。

【送付先】 回答用紙をFAX、郵送、メールのいずれかで送付してください。

FAX番号

郵送先

教科書問題を考える北摂市民ネットワーク

メール

【回答者（教育委員会）】

教育委員会

質問 1		質問 9		
質問 2		質問 10		
質問 3		質問 11		
質問 4		質問 12		
質問 5		質問 13	(1)	(2)
質問 6		質問 14		
質問 7		質問 15		
質問 8		質問 16		

【送付先】 回答用紙をFAX、郵送、メールのいずれかで送付してください。

FAX番号

郵送先

教科書問題を考える北摂市民ネットワーク

メール

【回答者（教育委員会）】

島本町

教育委員会

質問 1	②	質問 9	②
質問 2	① ② ③	質問 10	③
質問 3	③ 短所とまじは11か所が、 一部指摘はあり。	質問 11	① ②
質問 4	②	質問 12	①
質問 5	②	質問 13	(1) ① (2) ①
質問 6	①	質問 14	③
質問 7	①	質問 15	②
質問 8	③	質問 16	③

2025 年度使用 中学校教科書採択

- ・ 育鵬社歴史・公民教科書、自由社歴史・公民教科書、

令和書籍歴史教科書の不採択を求める要望書

2024 年 6 月 15 日

教育委員会 教育長 様
教育委員 様
選定委員会 選定委員 様

子どもたちに渡すな！あぶない教科書 大阪の会

TEL

貴教育委員会の教育への日頃のご尽力に敬意を表します。

さて 2025 年度から使用される中学校教科書の採択に向けて、貴教育委員会も着々と手続きを進めておられることと存じます。

今年の教科書検定においては、これまでに例を見ない極端な皇国史観と侵略戦争正当化史観に貫かれた令和書籍の歴史教科書が「合格」したことが、大きな驚きをもって市民に受け止められました。それだけではなく、かつて日本の侵略を受けたアジアの国々の人々は、日本の今後の進む方向に不安を持っているとのことです。日中戦争・太平洋戦争という破滅的な侵略戦争によって、日本国民は 310 万人もが命を失い、その何倍もの国民が、生涯苦しむような傷を負いました。また、その何倍ものアジアの人々を犠牲にしたことを私たちは忘れてはなりません。私たち大人がなすべきことは、過去の日本の歴史の誤りと軍国主義教育を反省し、未来への教訓を語り伝える教科書を子どもたちに渡すことです。

公立学校では学校採択ではないため、教員の意見をもとに作成される答申を得て、貴教育委員会が最終的に採択教科書を決めますが、それだけに貴教育委員会の責任は極めて重大です。

令和書籍歴史は戦前の国定教科書の国史そっくりで、いかにも時代錯誤な教科書ですが、内容においては育鵬社歴史・公民も、自由社歴史・公民も、本質は同じです。

2015 年には、大阪府下の 5 市（大阪市、四条畷市、泉佐野市、東大阪市、河内長野市）が育鵬社を採択し、地元の市民から大きな批判を浴びました。大阪市は「フジ住宅による市民アンケート水増し」事件が発覚し、マスコミに大きく取り上げられ、第三者機関による調査を受ける事態となりました。選定委員と教科書会社が癒着した贈収賄事件が発覚した藤井寺市では、採択期間中の 2023 年に採択やり直しがおこなわれました。

この 10 年間、紆余曲折あった大阪の教科書採択ですが、二度とこのようなことが起こらないように、以下、当会の資料も参考にして教科書の内容を精査し、公正公平な採択をしていただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

右派教科書(育鵬・自由・令和)をさらに追い詰め 教科書問題の根幹を転換させる年に

子どもたちに渡すな！あぶない教科書 大阪の会

共同代表 ■■■■■ (2024.6.10)

- 1、巨大で重要な基礎的世論形成の場としての教育義務教育年齢者は、現在1学年105万人、小中生合計が約1000万人(国民の約1割)。この場を誰がコントロールするかは、国民世論の形成にとって極めて大きな問題。
- 2、検定制と闘いの時代教育現場で使用される教科書の検定について家永教科書検定裁判(第一次訴訟1965～、第二次1967～、第三次1984～)が行われ、1997年の最高裁判決で終結。32年間の訴訟の結果、検定には裁量権の逸脱があったことが確定し、国側が敗訴。～「逸脱」は「草莽隊の年貢半減令」「南京大虐殺」「中国戦線での日本軍の残虐行為」「731部隊」など。検定制は以後ゆるみ、1970年代末には良い教科書も登場した。その後、再び検定強化が試みられるも、アジアでの冷戦崩壊→「近隣諸国条項」の制定により、1984年には中学校全社の教科書に「南京大虐殺」が登場することになったのが象徴的。
- 3、1984年以降、右派も教科書をつくり採択過程に介入することでシェア拡大する路線へと転換
～採択権限を教育現場から取り上げ、教育委員会へ政治的な圧力をかける運動へ～
1986年、右派の『新編日本史』が800カ所の検定修正意見と4次の追加修正により、検定合格。これを推進したのが「日本を守る国民会議」(現「日本会議」の母体)、「統一教会」なども。だが『新編日本史』は高校教科書のため、「学校採択制の壁」の前に5,000～9,300冊に留まった。
1996年からは、中学校教科書の作成(「教育委員会採択」)を目指し、「新しい歴史教科書をつくる会」(扶桑社～育鵬社←産経新聞)が発足した。統一教会も、憲法改正・家族制度防衛などで自民党を引き寄せることにより連携がなされた。漫画家/小林よしのり等右派文化人も参加
- 4、育鵬・自由社の困難と挫折、そして現在へ
2001年扶桑社は、歴史・公民ともに採択率約0.05%に留まった。
*2003年に、「日本会議」の覆面活動を『季刊戦争責任研究』において上杉が暴露。
2005年扶桑社は歴史0.4%、公民0.2%→06年「つくる会」分裂<路線対立があり、藤岡派(自由社)は従来の激しい攻撃的方式を守り、八木派(育鵬社)は抑制的になった>。
2009年の採択率～自由1.1%扶桑0.6%→安倍晋三の働きかけにより育鵬社が発足
2011年育鵬社が歴史3.7%公民4.0%へ。自由社は歴史0.1%公民0.1%
～翌年にかけて安倍+松井(大阪維新)による教科書での協力関係が始動
2015年育鵬社は歴史6.3%・公民5.7%→アンケート不正が発覚。自由社も歴史0%・公民0%不正追及のさ中、日本会議の教科書対策のトップ宮崎正治が死去(2016.5.18)

2020年育鵬社が歴史1.1%・公民0.4%へ転落、自由社は公民0%。

2024年…育鵬社・自由社のほかに令和書籍/歴史が検定を通過。教科書全体は8月末に採択

5、右派歴史教科書の行き詰まりと教科書問題のゆくえ

国家による戦後の教科書行政は、家永三郎氏から起こされた裁判により、検定には裁量権の逸脱があったとの判決が確定した。その後、アジア周辺諸国の民主化の力が日本へも波及し、南京大虐殺や中国戦線における日本軍の残虐行為、731部隊の記述なども検定で容認せざるを得なくなった(とくに1982年に「近隣諸国条項」制定)。

こうして1980年代に国は、検定制を楯にして権威主義的に締め付ける方式をいったんゆるめざるを得なくなったが、その後起こされた右派による「歴史教科書をつくる会」などの運動と、それに反対する市民運動の力とのバランスの上に、とくに安倍政権下において、戦後処理や国境問題などを通して新しい国家主義的な統制が進められてきた。だが、安倍の退陣と彼の殺害以降に生じた自民党の急激な弱体化により、国家的な統制自体に行き詰まりがもたらされているように見える。

この2024年の中学校教科書の検定においては、旧来の育鵬社・自由社が検定を通過した上に、さらに新しい右派教科書である令和書籍(主筆/竹田恒泰)が検定通過したことにより、強い懸念も寄せられている。だが、右派教科書も3社になると、逆に問題も起きる。現在の教科書採択の制度下にあっては、採択区でわずかに一社の教科書しか選ばれない。この「究極の小選挙区制」である教科書採択制度のなか、右派各社は、支持者(教育委員等)を奪い合うことになる。そのとき、いずれの右派教科書会社も最高位の票を獲得することが困難となり、採択される可能性は、右派の分裂と対立によりさらに低くなった、という見方も成り立つ。一見して、活発に見える右派教科書の運動だが、採択制度の壁の前では「死に票が増えるだけ」という現実、彼らも締め付けられている。

そうした、右派教科書の行き詰まった姿は、20年間にわたる彼らの歴史の中で2016年の採択において、育鵬社が全国で歴史6.3%、公民5.7%という、最高の数字を出したにもかかわらず、直後にそれが膨大な「不正なアンケート活動」に基づくものであったことが明らかとなった。公正であるべき教育に関わる教科書や運動体が、公然と不正を行っている姿を目のあたりにし、彼らの支援団体も以後、解散や弱体化せざるをえなかった。

このため今年2024年の検定に向けて右派教科書が果たして登場できるか、一時は危ぶまれるような状況だった。今年になって彼らの教科書も検定を通過したことが判明したが、その育鵬社や自由社の教科書を読むとき、右派教科書の傷だらけとなった姿が浮かび上がる。新規参入した令和書籍も、有力な支持母体がないことによるためか、印刷費用のかかるカラー刷りを本文に採用することができず、美しい他の教科書に混じって、生彩を欠いて教科書展示会場に置かれている。

今年、私たちはこうした右派教科書の息の根を止め、より本格的に教科書の国家統制に挑み、とくに領土問題や戦後処理問題で、政治的な論争を越えて歴史学上の研究成果が表に出る時代に入る年にしたい。

6、大国主義的な「仁徳天皇陵は世界一」を取り下げた育鵬社・自由社だが

彼ら右派教科書に共通した特徴は、1) その基礎に大国主義的な心情が流れていること、2) 総体として戦前の皇国史観の焼き直しであること、3) 自らの国家に対する無反省の視点に立つこと、などに要約できるように思う。

第1の「大国主義的な心情」を示す代表的な見解として、育鵬社と自由社に分裂する以前、両者のパイロット版であった模擬教科書『国民の歴史』（西尾幹二著/新しい歴史教科書をつくる会編）において、原始・古代にさかのぼって「華々しい墓くらべ」が展開されたことがある。

西尾は「縄文時代…にシュメールなどの都市文明と同時期に、予想以上に高度の文明がわが列島内に構築されていた」（125 ページ）とし、「文化」という地方性に基づく用語は使わず、普遍的な広がりをもつ「縄文土器文明」と呼び、やがて「日本文明」（2024 年版）なるものを打ち出す伏線とした。そのため彼は、エジプトのクフ王のピラミッドと秦の始皇帝の墳墓、仁徳天皇陵（大仙古墳）の三者を比較し、広さの面からみて「仁徳天皇陵が最大規模」（291 ページ）と自慢して見せたのである。この見解は、今年の令和書籍（64 ページ）にまで引き継がれている重要な見解である。

しかし、クフ王のピラミッドは紀元前 27 世紀頃のものであり、仁徳天皇陵（大仙古墳）は紀元 5 世紀である。ならば両者には 3,200 年もの隔りがある。そんなにも時間的に差のある建造物について、その高さや広さを比較して、はたして何の意味があるのか、と考えるのが自然だろう。しかも一方は、巨大な石を整然と切りそろえて高く積み上げた建造物だが、もうひとつは柔らかな土を盛り上げただけの「大きな土まんじゅう」である。その広さとは、高さを生み出せない拙い建造技術の結果でもあろう。

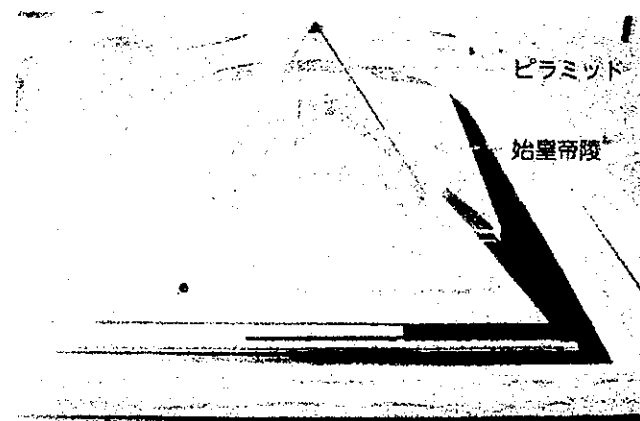
もし百歩譲って同古墳の広さを認めるとしても、始皇帝陵については、遺体を埋めた墳墓こそ小さいが、兵馬俑などの施設も合わせて、その広さは山手線内部の 90% の面積に達する。大仙古墳とは比べようにならない。中心に位置する、遺体を埋めた部分の大きさだけで両者を比較し、「仁徳天皇陵は、その何倍もある」と、「比較にならない比較」をしたのである。自国の墓を「世界一」とするため、彼らの教科書は一時、兵馬俑の存在さえ隠した書物であった。

それでも、彼らは政治を握っている有利な状況をつかい、安倍政権と大阪維新による強い結びつきで採択をめざした。育鵬社は 2015 年の採択へ向け、教科書のトップに「大阪の堺市にある世界一の大仙古

古墳は「語る」

ローマや皇帝の多くは、亡くなると大きな墓にほうむられました。ローマの皇帝ネロ（54～68）の墓として建てられ、のちに要塞として利用されたサンタンジェロ城もその代表例です

古墳時代には、大王や有力な豪族の墓である古墳が多くつくられました。特に最大の方墳である大仙古墳（仁徳天皇陵）は、サンタンジェロ城よりも、エジプトのクフ王（前27世紀ころ）のピラミッドや秦の始皇帝陵



をも上回り、墓の面積としては世界一の規模とされています

このことは、当時の日本も、高度な土木技術に支えられた文化を持っていたことを示しています

歴史には、「あつ」とおどろくことや「なるほど」と感心することがたくさんあります。ワクワクしながら学んでいきましょう。



◎ 世界三大墳墓の模型（大仙古墳（仁徳天皇陵）の敷地の中に、クフ王のピラミッド、秦の始皇帝陵が収まっている。（堺市提供）

墳」を掲げた教科書を作成する。その裏舞台で行われたのが、不正なアンケートでもあった。

それが激しい非難を浴び、5年後の2020年に行われた教科書採択では、彼らを批判した市民運動も「世界一の墓」の虚構を積極的に暴き、かつ不正な採択活動を指弾した（添付の「えらい歴史認識ズレてまっせ、育鵬社はん！」参照）。

このため2020年に育鵬社は、採択数を6分の1近くまで減らし、歴史1.1%、公民0.4%に留まった。自由社も0%となる（この年、自由社の歴史は、検定を通過せず、公民教科書のみが、数字にならない程度の少数の私立中学において採択された）。

こうした打撃を受けて今年2024年は、彼らの教科書自体にかなりの変化が見られる。上に取り上げた「世界最大の墓は仁徳天皇陵」という虚偽は、育鵬社・自由社ともに、教科書の中で派手に主張することをやめた。かつて、ページを大きく占めていたクフ王のピラミッドと始皇帝陵を大仙古墳と比較した画像

（別掲した現在使われている育鵬社歴史のp.39、自由社歴史p.37）を完全に削除したのである。そして大仙古墳の小さな写真を掲げ、そのキャプションに、「日本最大の古墳で、秦の始皇帝陵の約4倍の面積がある」（育鵬社p.40）とだけ記した。自由社も「世界で最大規模の面積をもつ墓といわれる」

（p.13）と、やや控えめな表現に変わった。

今年の育鵬社・自由社のこうした変化は、彼らの出発点となった『国民の歴史』以来のものであり、彼らの論理的な一角が崩壊しつつあると言っても良いだろう。ただし、育鵬社・自由社は、いまだそれへの未練を上記のように残しているし、令和書籍も「世界最大の墓は仁徳天皇陵」という見出しのもとで、クフ王墓や始皇帝陵との比較を文字のみが行っている。

他国の墓と大仙古墳の大きさを比べる図を取り下げたとはいえ、維新政党の支配下にある大阪での採択を両社は、今回もめざしている。とくに育鵬社は、子どもたちが身近な地域史を学ぶ特集「大阪の歴史・ワクワク調査隊」（p.20～24）のタイトルで4ページ企画を組み、「上町台地を制する者は天下を制する」という見出しを掲げて、難波宮の設置から信長と石山本願寺との11年間にわたる戦闘までを大きく取り上げた。

ただ、その取り上げ方は、見出しの「制する」という表現にあるように、軍事や財力への評価に視点を置いたものであり、石山本願寺が3,000軒内外の規模の寺内町をもち、住民たちには免税特権が与えられ、活発な商業・政治活動を自由に行ったことを信長が潰そうとしたものであることを書かなければ、単なる権力的な支配をめぐる争いになってしまう。だが、この育鵬社の教科書には、「寺内町」の「寺」の字も出てこない、権力主義的な理解のもとで形のみ変えて、大阪の歴史を描きなおしただけである。「万国墓比べ」の誇大妄想は消えても、衣の下から鎧がのぞいていると言えよう。

じつさいに今年も、文字も小さく、文字数もわずかになったとはいえ「外国から船に乗って来た人は…船上からまず仁徳天皇陵を目にして、その大きさに驚いた」という記述をこっそりと残している

（p.21）。彼らが維新の勢力下にある大阪での教科書採択を決して諦めてはいないこと、彼らは生き残って、やがて再び誇大妄想に耽（ふけ）れる機会を狙っていることを、踏まえておく必要があるだろう。

ところで育鵬社は、このように「墓比べ」からは表向き撤退し、さらに縄文時代の三内丸山遺跡についても、自由社が「最盛期には500人もの人々がこの地に定住することができたといわれます」（p.25）と書いて、誇大な評価を維持しているのとは異なり、「巨大な集落跡」（p.31）とだけ抽象的に記して抑制的

になっていると言えるかもしれない。だがこの集落の規模は、研究者がいうように「平均 40 人程度」(山田康広監修『縄文時代の不思議と謎』実業之日本社、p.114) とするのが正しく、育鵬社もまだまだ根本的な訂正を必要としていることを強調しておきたい。

その点で、「縄文文明」という言い方は、すべての右派教科書全体が、各界からの厳しい批判を受けて比較的初めの頃から消してきたものだが、今年の育鵬社歴史において、「日本は西洋文明とも中国文明ともちがう独自の『日本文明』をつくりだしたといえましょう」(p.284) と、教科書の最後の総括部分に書いた。彼らが密かに大国主義的な立場を狙っていることがよくわかる、注意しなければならない点である。

7、他の問題記述の具体例～「大国主義的な心情」を示すもの

以下においては、これまで述べた以外の「大国主義的な心情」を示す例を、今年も採択される可能性がある育鵬社歴史教科書の個別事例を、箇条書き的に列挙してみよう。

「漢字をもとに、日本独自のかな（ひらがな、カタカナ）を作り上げた」(p.8)

「日本という国は（4世紀ころ以来）今日まで一貫して継続している」(p.8)

「日本は歴史の古い国」(p.18)

「日本は世界一の鉄砲生産国になりました」(p.106)、

フランスの「ジャポニズム」について、「印象派の画家たちが目指した自然を見たままにえがく姿勢や、光に満ちた画面、瞬間の表情を写し取る方法などは、浮世絵から学んだ部分が大きい…浮世絵は西洋の芸術家に、新しい時代にふさわしい人間や自然の見方を教え、日常生活の中に美があることを示した」(p.141)

「正岡子規と夏目漱石」のコラムにおいて「2人は日本人としての生き方を文学の世界で模索し、名作を残しました」(p.199) とし、とくに漱石の「私の個人主義」となどの書が、「日本人として」などという集団主義（郷党制）を乗り越えようとするものであったことを歪めている。

考古学者シュリーマンが「日本人が世界でいちばん清潔な国民であることは異論の余地がない。どんなに貧しい人でも、少なくとも日に一度は、町のいたるところにある公衆浴場に通っている」(p.201) と書いたことを無批判に掲載し、民衆はその清潔感と裏腹に、中近世においては穢多・非人を自らの風呂（銭湯や温泉）に入れず、それを克服することは大正期までつづくこと、とくに都市貧民の多くが非人とされて、そうした取扱いを受けていたことを隠している。

「日本の領土をめぐる問題」(p.256-257) において、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」などを「日本固有の領土」と書き、これらの地域が一貫して、中近世のみか戦後まで、ロシア・朝鮮・中国などとの間にあって、あいまいな領域とされてきたことを隠している。

「日本は、過去の歴史を通じて、国民が一体感を持ち続け、勤勉で礼節を大事にしてきたことで様々な困難を克服し、世界でもめずらしい安全で豊かな国と評されています。世界の中の大国である日本は、これからも優れた国民性を発揮して、国内の問題を解決するとともに、世界中の人々が平和で幸せに暮らしていけるよう国際貢献していくことが求められています」(p.271) と総括している。

8、戦前の皇国史観の焼き直し

第2点目の「戦前の皇国史観の焼き直し」については、明治期の五日市憲法について、それが国民の権利の項目に多くの条文を割いており、明治憲法より遙かに民主的な内容を含む憲法草案であったことを述べず、その第一条に「日本国の帝位は、神武帝の正統たる今上帝の子孫に世伝す」とある一点において、天皇制の側面からのみ評価を極端に切り縮めている (p.183)。

明治憲法（大日本帝国憲法）については、伊藤博文などが、天皇や華族（旧領主）という旧来の権力や、「郷党」と彼が呼んだ伝統的な集団主義などを、あえて明治憲法で制限しようとしなかったことを隠し、民衆の人権を踏みにじった憲法を高く評価する (p.184-185)。この教科書が、当初から同憲法の問題性を不問にし、高く評価する姿勢は今も変わっておらず、この教科書の危険性を示すものである。

「昭和天皇の言葉は、私の身はどうかまわないから、国民を救って欲しいというものでした」

(p.272) という発言がもたらす天皇への評価は、彼がボツダム宣言の受諾まで、アメリカとの間で、天皇制の保持を執拗に求めつづけたことと矛盾（進藤栄一『戦後の原像』岩波書店、1999年7月）しており、天皇制の美化を追求した教科書となっている。

9、自らの国家に対する無反省の史観

第3点目の問題点「自らの国家に関する無反省の史観に立つ」については、家永裁判でも認められた南京虐殺や731部隊、中国戦線での残虐行為にすべての右派教科書が触れていない。そののみか、まず国内の百姓一揆について「百姓の言い分が正しいと認められると要求が通り、また失政と判断された代官や領主は、幕府から処分を受けました」(p.133) と、当時の一揆をめぐる現実といちじるしくかけ離れた見解を打ち出している。

また部落差別への反省が弱く、他の身分制度の一部に見られた弛緩した姿をもって、すべて「江戸時代の身分制は流動的な部分もあった」(p.121) という評価をしている。とくに、江戸期の部落差別は、差別すること一されることが法的に義務とされたことなどを、まったく無視している。

下関条約について「条約には、朝鮮が清の属国ではなく独立国であることが記されました」(p.189) として、日本による台湾や朝鮮への植民地支配の道を開くものとなった事実を隠している。

韓国併合についてはさらに、「これは韓国の領土をロシアから守るため」(p.192) であったと、偽りの正当化をしている。

また「航空機による体当たり攻撃（特攻）が行われ」(p.237) と書くのみで、覚醒剤が特攻兵に与えられていた事実（相可文代『ヒロボンと特攻』論創社）を書かず、沖縄戦における死者についても「その半数以上は一般市民」（同）であった理由について、日本軍の責任によるものであったことを隠している。またサンフランシスコ条約により米軍統治から解除された際、沖縄などが除外されたこと (p.254) も、日本による沖縄棄民政策の一環であったことを隠している。

新幹線の建設について、これは戦前の東京—下関間の「弾丸列車計画」が、やがて朝鮮から中国まで延伸する計画へ拡大したことのみに基づき、「この計画は戦局の悪化によって中止され…約 20 年後、東海道新幹線の大事業が始まる時に活用されました」と、戦前の朝鮮—中国支配への反省もなく、「この路線計画は東海道新幹線に引きつがれた」(p.264) とのみ評価している。

「安倍晋三は、史上最長の通算 8 年 8 か月間、首相を務め、教育基本法改正や憲法改正の手続きを定めた国民投票法、安全保障関連法を成立させました」(p.268) と手放しで評価し、それらが今も大きな問題を残し、生み続けていることを語らない。

おわりに ～ 日本国憲法の評価と文明論について

最後に、日本国憲法の制定について育鵬社は、「日本語に翻訳された（アメリカによる日本国憲法の）改正案を政府提案として帝国議会で審議しました。議会審議では、細かな点まで GHQ との協議が必要でした。議員は GHQ の意向に反対の声を上げることができず、ほとんど修正されないまま可決されました」(p.251) という憲法理解の古い誤解をそのままに踏襲している。自由社もほとんど同じ見解だが、これらは今日の定説となっている「日本国憲法の日米合作」論を無視し続けており、非常に重要な誤解を抱えた教科書であることを指摘しておきたい（令和書籍には、この点で少し評価できる面がある。なお日本国憲法の日米合作については、フォーラム平和・人権・環境『未来へのてがかり』p.12~15、拙著『日本会議とは何か』合同出版、第 3 章などを参照されたい）。

また育鵬社は、「歴史の旅の終わりに」の節において、「日本人が外部環境の変化に対する柔軟な適応力と進取の気性を発揮して、歴史の荒波を乗り越え…異なる民族が入り乱れての動乱は起こらず、外国の植民地になったこともありません。日本人の精神のあり方は今日まで変わることなく続いています」とし、「日本文明」(p.284) なるものを称揚した。この言葉には、右派教科書が登場する秘密が隠されているので、あらためて以下に追記しておきたい。

日本社会の歴史的的特色として挙げることでできる最大のものは、約 10,000 年前に大陸から完全に切り離されてからというもの、海洋により、他の民族や国家から隔てられた結果、急激な改変を迫られることなく、社会として自律性を保って緩慢に発展することが可能だったことにある。たとえば右派教科書が誇る「元寇による侵略から逃れることができ、天皇制も大きく途切れることなく維持できた幸い」は、日本が神風の吹いた神国だからでもないし、優秀な民族性によるものでもない。ただたんに、地理的条件により、「海を渡るのは困難」という厳粛な事実から来るものにすぎない。

この日本社会の特質を考えるならば、ダーウィンが進化論の認識を確実にしたガラパゴス諸島や、南アフリカの西沖にあるマダガスカルなどの諸島のことを考えてみるとよい。こうした島々には、多数の固有な植物が今も育っている。有名なのはガラパゴスのウミイグアナや、マダガスカルのバオバブの木などがある。愛嬌あるこれらの動植物は、それらの島の完全な固有種として、大陸の植生からまったく切り離されてきた。理由は簡単である。たんに大陸から長期にわたって島が切り離され、その島の土地の自然条件に適応して固有の進化を遂げた動植物が、ついに新種となって、世界に知られるに至った「可愛い」動植物というだけだ。

彼らがどのようにして新種となったのかといえば、植物が少ないガラパゴスの火山島からは、イグアナが海へ飛び込んで潜り、豊かな海藻を食べて暮らし続けたからである。マダガスカル島では、乾燥地帯の島の南西部で生育した樹木は、乾期に葉を落として枝を小さくし、逆に幹を太く大きくさせることによって水を蓄え、あのようにユーモラスな体形となった。それぞれが、厳しい環境に適応して種を苦勞して保存し、進化させた結果なのだ。

同じように、中国大陸から切り離され、激しい騎馬民族の侵略（元寇）からもかろうじて逃れ、米や文字、政治制度だけを大陸から吸収し、湿潤なこの島国に国家を築き、比較的豊かな社会を築くことに成功したことを考えれば良い。天皇制が残れたのも海があったお陰であり、それが無ければ今ごろフビライ・ハンの青竜刀に斬られた頭蓋骨が、日本海に沈んでいることだろう。漢文による文字の波に押され、埋もれても自分たちの文化を消し去ることなく、ゆっくりカタカナやひらかなを生み出し、漢文仮名交じり文というこの日本語固有の表記法をあみだし、今は英語もカタカナで縦横に表記する。これが中国に接していたり、モンゴルと争い続けていた社会だったら、こんなにまったりとは生きてこられなかった。万里の長城の代わりとなるものが、ここには東海（トンヘ）、おっと日本海（とも言う）としてあるのだ。

地理的環境が、このように動植物の進化を決めるように、人間社会もそれらに支配されている。日本海がなければ、いまごろ天皇家一族は皆殺しになっていたし、逆に天皇の力を使って国内での対立を、どこかで手を打たせ（信長と一向一揆など）、「まあまあ」と言って済ませてきた。狭い島の中で徹底的に争い、相手を追い詰めるなら、彼らはいつ窮鼠猫を噛むかもしれない。だから、なかなか相手を殲滅するまでの戦いにならない。多くの場合、調停者（この場合、天皇がよく使われた。天皇制存続のもう一つの根拠がコレである）を立て、ゆっくりとした権力の委譲へと向かった。明治「維新」などと言っても、内戦の期間は 2 年足らずで終わった旧勢力の再編ごっこだった。フランスとイングランドの 100 年戦争や、ドイツ 30 年戦争などという長期戦は、この島国に似合わない。日本には「異なる民族が入り乱れての動乱は起こらず、外国の植民地になったこともありません」と書いた育鵬社教科書の執筆者の言葉は、「ガラパゴス＝日本」列島で昼寝したイグアナの寝言のようなものだ。

だからこの島国に生まれ育った文化は、周りの国から、きつとやらやましがられる「のどかさ」を帯びていよう。だが、そうだからと言って、これは世界に通用する文明などではないのだ。自らを楽しませるしかできない。せいぜい謙虚な観光立国として「世界に冠たる」おだやかさを、世界の人々とともに楽しみたいものだ。

了

育鵬社公民教科書を採択しないでください。

育鵬社公民教科書の161ページには「子ども食堂」についてのコラムがあります。育鵬社公民教科書にはいくつかの誤りがありますが、このコラムは子どもを傷つける明白な人権侵害教材です。したがって、教室では使えない教科書であり、採択すべきではありません。

2020年の中学校教科書採択の育鵬社見本本にも、同じコラムが掲載されていました。この時に掲載されていた子ども食堂の写真は、子どもの顔も食堂名もわかる写真で、しかも当事者の許可を得ていませんでした。そのために私たちは展示会場からの撤去を要求し、育鵬社は写真を隠すシールを張ってほしいと教育委員会に依頼し、とりあえず写真は見れないようになりました。しかし、このコラムの問題は写真だけにあったのではなく、キャプションそのものが差別的な内容であり、採択してはならない教科書でした。

しかるに、今年採択にかけられている育鵬社公民教科書にも、写真こそ見え、同じコラムが掲載されています。どうやら育鵬社は子どもの人権には関心がないようです。以下、私たちがそのように考える理由を述べます。

学習を深めよう

「子どもの貧困率」と「子ども食堂」

18歳未満の子どものうち、相対的貧困^①の家庭で暮らす子どもの割合を「子どもの貧困率」といいます。経済的に豊かととらえられている日本ですが、「子どもの貧困率」はOECD加盟国35か国の中で高い傾向があります。特にひとり親の家庭は経済的に余裕のない状況^②にあります。

そこで、子どもの貧困対策として、民間団体によって無料または低額で食事を提供する「子ども食堂」が広がっています。全国に2000か所以上あり、子どもだけでなく高齢者^③なども受け入れた地域交流の場として年間約100万人の利用者がいると推計されます。また、経済的な理由で塾へ通えない子どもに勉強する機会と場所を提供する「無料学習塾」や進学費の補助などの支援も行われています。

私たちは、こうした子どもや家庭の問題をどう解決するのか、考えていかなければいけません。



①日本財団が子どもの貧困対策として取り組む「第三の居場所」で行われている子ども食堂。バイキング方式で子どもたちが各自の皿に料理を取る。

(1) 子どもを傷つける無神経な記述

現在、全国で多くの「子ども食堂」や「無料学習塾」が運営されていますが、育鵬社公民教科書は「子ども食堂」を貧困な子どもの行く場所と決めつけています。教室には「子ども食堂」に行っている子どももいるはずです。その子たちはどんな思いで授業を受けるのでしょうか。

自分の家が貧困であることを子どもたちは十分知っています。しかし、家庭の状況を周りの子に知られたくないと思っている子どもが大半です。にもかかわらず、教科書で「子どもの貧困対策として、民間団体によって無料または低額で食事を提供する『子ども食堂』が広がっています」と正面切って教えられたら、うつむいてしまうのではないのでしょうか。

近年、「子どもの貧困」が社会問題になり、マスコミでも取り上げられるようになりました。新聞などではリアルな実態が記事になり、子どもの窮状を救うための地域の人々の取り組みが取り上げられるようになりました。しかし、このコラムは教科書の記述です。教室にはさまざまな事情を抱えた子どもたちがいることを想定した配慮が、育鵬社にはまったくありません。

(2) 市民や教員の努力をぶち壊し「差別」や「いじめ」を誘発する人権侵害記述

「子ども食堂」を運営している市民たちは、必要としている子どもたちが参加しやすいように、「どの子どもも来てよい食堂」にし、さらに地域住民も参加して「みんなで楽しくご飯を食べる場所」、「学習支援もする場所」にしてきました。その結果、地域の交流が活発になり、近所の子どもたちの見守りも進んでいるといわれています。

ところが育鵬社公民教科書は、そんな市民たちの努力をぶち壊します。「子ども食堂」は「貧乏な子どもが行く所」というイメージが作られれば、本当に必要とする子どもたちは行きにくくなります。また周りの子どもたちには偏見が生まれ、「差別」や「いじめ」につながる可能性もあります。

このコラムには「特にひとり親の家庭は経済的に余裕のない状況にあります」という記述もあります。これも「ひとり親家庭」を「貧困」と決めつけています。

たとえ、「経済的に余裕のない状況」にあったとしても、子どもには子どものプライドがあります。「家庭のことには触れてほしくないと思っている思春期の子どもの傷ついた心に塩を塗るような、こんな教科書は絶対に許せない」と、「こども食堂」に関わっている市民は強く抗議しています。

またこのコラムは、教員たちも困惑させます。いろいろな事情を抱えた子どもたちが「差別」や「いじめ」を受けないように、日々心配りをしている教員たちは、この教科書を与えられてどんな授業をすればいいのでしょうか。

子どもたちの中には「貧しい」ことや「ひとり親」であることに何の引け目も感じず、堂々としている子もいるでしょう。また、何の偏見も持たない子もいるでしょう。しかし、学校現場での厳しい現実を考えると、教員たちはこのコラムには本当に困ってしまいます。たいていの子どもたちは、教科書には正し

いことが書いてあると思っています。その子どもたちに、教科書どおりに教えられないのが育鵬社公民教科書なのです。

（３）「子どもの貧困」の根本原因を問わず、地域の助け合いを美化

前回から、育鵬社は「子どもの貧困」を大きく取り上げています。社会的にも大きな問題になっており、政府や自治体も「子ども食堂」や「無料学習塾」の支援に乗り出しているからでしょう。

しかし、「子ども食堂」や「無料学習塾」が、「子どもの貧困」そのものを解決できるわけではありません。「子どもの貧困」の背景には「親の貧困」があり、本来は政府が根本的な解決に取り組まなければならないにもかかわらず、育鵬社公民教科書はそこを問いません。不安定な「非正規雇用」の拡大、新自由主義経済（今だけ・金だけ・自分だけ）による「格差拡大」を進めた「アベノミクス」については目を向けさせず、地域の助け合いが問題解決の力ぎであるかのように教えているのです。

「自助・共助・公助」という言葉がありますが、「子ども食堂」や「無料学習塾」はこの中の「共助」にあたります。市民たちは「とりあえず目の前の子どもの現実を何とかしなければ」と取り組んでいます。が、資金的にも人的にも限界があるのは目に見えています。ウクライナ戦争をきっかけとした世界的な物価高は、「子ども食堂」の運営そのものを直撃しています。自治体や国から一定の支援が得られる地域も増えていますが、そもそも国として保護者の「雇用安定」や「社会保障」を充実させるための施策が求められています。ところが岸田政権は安倍政権・菅政権同様に、「自助努力」を押しつけ、それで無理なのは「共助」で補えという姿勢です。

「先進国」といわれるこの日本で、食事も満足に与えられない子どもがいるとはどういうことか、「奨学金」とは名ばかりで「学生ローン」を組まされ、何百万円もの借金を抱えて社会人生活をスタートさせねばならない若者が大勢いるのはなぜなのか、国民の「基本的人権」は本当に大切にされているのか、そうした切実な問題に目を向けさせる公民教科書が必要です。政権の意を受けた育鵬社公民教科書は、それとは真逆の教科書です。

（４）「日本財団」の支援を美化

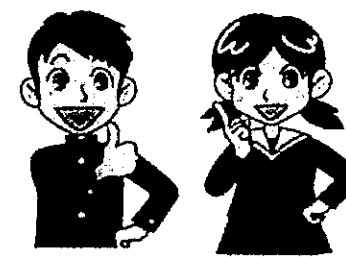
このコラムにはさらに大きな問題があります。写真の説明では「日本財団が子どもの貧困対策として取り組む『第三の居場所』で行われている子ども食堂」と書かれています。日本財団は大学生の奨学金を含む種々の支援を行っている団体ですが、本体は日本モーターボート協会です。つまりボートレースの掛け金から得る収入をもとにして支援金が捻出されています。子どもが満足に食事もできないのは、も

しかしたら親がボートレースに夢中で、生活費を使い込んでいるからかもしれません。賭博の上前をはねた金が子ども食堂に使われるのは悪い冗談ではないでしょうか。「出所は問わない。悪銭でも金は金だ」というのが育鵬社の考え方なのでしょうか。

他社にも子ども食堂に関する記述はありますが、こんな特定の団体を支援団体として紹介しているのは育鵬社だけです。日本財団は教科書で肯定的に取り上げるのにふさわしい団体ではありません。

（５）ＬＧＢＴＱの子どもへの配慮がない

どの教科書も子どものキャラクターが案内するようになっています。育鵬社は歴史・公民ともに「男の子」は学ラン（学生服）、「女の子」はセーラー服です。これらは陸軍と海軍の軍服を元にした制服ですが、様々な性自認の子どもがあり、ＬＧＢＴＱについて取り上げる教科書が増えている中で、育鵬社だけはあくまでも子どもを「男女」に分け、制服を押しつけています。学校現場



男の子 女の子

ではこのような制服は姿を消しつつあり、ブレザーか自由服に変わっています。また、制服があっても、ズボンとスカートは個人が選べるようになっている学校も増えています。社会全体が一人一人を大切にする方向に進みつつあるにもかかわらず、育鵬社は古い価値観に固執し、ＬＧＢＴＱの子どもを傷つけているのです。

以上の理由により、育鵬社公民教科書は絶対に採択しないでください。

令和7年度使用教科用図書閲覧票（令和6年5月24日～6月6日）

閲覧場所（人権文化センター）

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
1	5月27日	自由社 歴史 公民		自由社(歴史)P36「大和朝廷」の表記については、歴史学者はの見解では時代をあらますものとしての使用は適切ではなく、現在、古墳時代に誕生した政権は「ヤマト政権」「ヤマト王権」とされている天皇自身が日本の政治にかかわるのは、7世紀後半の天武天皇からが定説である。 P38～41 神話の扱いが多く、神々の系図までものせている。神話である神武天皇が実在した天皇の始まりであるかのように記述。歴史史実に誤った内容の教科書は使ってはしくない。
2	5月28日	光村図書 国語	3年	なし
3	5月29日	主に現在使用されている出版社のもの		全部を観ることはできませんでしたが、現在使用されている出版社のものはどれも良かったと思いました。
4	5月30日	社道		会場に筆記用具も机もない。不親切極まりない。地域住民に情報提供をしようという感覚が乏しい。 令和書籍の「国史」を読んでびっくりした。23頁のサムシンググレートには特に驚いた。オカルトではないか。雑誌「ムー」とどこが違うのか。歴史と神話を意図的に混同させている。全編がヘイト本だと言ってよい。凄まじい本である。まさかこんなキワモノが採択されることはないと思っている。
5	5月30日	自由社 歴史		育鵬社の歴史よりひどい。 縄文文化や三内丸山の遺跡を荒唐無稽に評価している。今日の学問的水準からかけはなれたひどさである。採択には向かない。
6	5月30日	光村図書 道徳		人権や共生で最も良心的なのが光村である。 障がい、ジェンダーLGBTQ民族など各分野にわたっていいいに書かれている。 採択がのぞましい。
7	5月30日	帝国書院 歴史		各時代の特徴が図式化され、変化の課程がわかりやすい。 人権や平和についていいいに解説している。 採択の価値がある。

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
8	5月30日	育鵬社 歴史		40ページの大仙古墳と始皇帝を比べて大仙古墳の方が大きいというのは変ではないか。底面積だけ比較してニッポンスゴイと書くのは幼稚である。教科書の水準を満たしていない。 外国人に日本をほめさせて、だから日本はスゴイというのも変な話である。(201ページ) 採択に値しない教科書である。
9	5月30日	自由社 公民		日本の教科書なのに日本の人権侵害よりも他国のそれをていねいに取り上げる変わった教科書である。 領土問題は一方的な記述で歴史的経過が全く分らない。ひどい教科書である。
10	5月30日	育鵬社 公民		基本的人権を憎んでいるとしか思えない。 男女平等入管行政夫婦同姓など時代錯誤のとらえ方が極立っている。 自衛隊＝平和の守り手という突飛な書き方にもびっくりする。 子どもたちを戦死させたがっているとしか思えない。
11	5月30日	教育出版 公民		公民科の中では最もまともな教科書だと思う。 特に社会保障、福祉の記述はよい。 子どもの人権を守ろうとする意欲が見える。
12	5月30日	学び舎 歴史		水準はとびぬけている。 加害も被害の歴史も過不足なく記している。 最も良心的な教科書である。
13	5月30日	日科 道徳 東京書籍 教出 道徳 その他		日科は偉人伝が多い吉田松陰や伊藤博文などは幕末のテロリストではないのか。教出は「美談」を書きすぎだ。美談のもっているあやうさがわかっていない。
14	5月31日	令和書籍 「国史教科書」		1教科書名称「国史」とは戦前とみがまうもので不適當。 2歴代天皇の皇位継承図 実在していない神武(神話である)などを、あたかも実在しているかのように記述するのは史実とはいえない。初めて「天皇」を自称したのは天武天皇とする学説が有力とされている。 3教育勅語を載せて、国民は天皇の臣民であり、「一担緩急あれば義勇公に奉レ」の意味は戦争中には天皇のためには命を捨てる・ささげることを強いられた歴史があった。憲法の定める国民主権と相いれないし、戦後、教育勅語は失効しているものをわざわざ、教科書にのせる必要はないのではないか。

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
15	5月31日	令和書籍 「国史教科書」		令和教科書は小型サイズ、ページ数多い、白黒刷りという特徴も他の教科書とは全く違い、生徒は興味関心、学ぶ意欲を持つでしょうか。 承久の乱(承久の変)について4ページ半も使って記述していることも他の教科書とは大きく違う。 復古的天皇制支持の主張のためか、武士政権を確立した鎌倉幕府と闘ったことを強調しすぎて定説の史実を歪めている。
16	5月31日	中学校社会科 公民教科書 育鵬社 自由社 東京書籍 教育出版 帝国書院 日本文教		日本国憲法の三原則、「国民主権」「基本的人権」「平和主義」を学び、主権者としての自己を育てることが大切。戦前回帰のような「愛国兵士」「国民の義務」「家族の一体観」を押しつけるのは日本を孤立させ、片寄った考えを植えつける。 <u>問題あり</u> 「育鵬社」p42～43、p44～45、p48～49、p59、p50～51、p54～55 p161、p184、p87。 「自由社」好戦的で問題が多い、戦前回帰の内容、p44～45、p68～69、p186～187 p169、p192～193 <u>良い</u> 「教育出版」人権、平和の大切さ、基本的人権、平和主義について、きちんと記述。 <u>良い点も悪い点もある</u> 「帝国書院」 <u>あまり良くない</u> 「日本文教」政権への付度 p88、p98、p213 「東京書籍」p202～203 p86、p184～185
17	5月31日	中学校社会科 歴史教科書 育鵬社 自由社 令和書籍 教育出版 帝国書院 日本文教 出川出版 学び舎		天皇崇拝、日本を過度に礼賛するなど戦前回帰を思わせる内容はただでさえ島国の日本にあって他国と対等につきあい客観的に自国を見る目をくもらせるのでよくない。 <u>問題あり</u> 「育鵬社」p54～55、p44 神話、天皇を結びつけ、p40 大仙古墳礼讃 「令和書籍」天皇、戦争に関する記述多い。p19、p37、p333、p432～433。教育勅語礼讃 p312、男系皇統、皇国史観によってゆがめられている 「自由社」p38～41 p25 p174～5 <u>良い</u> 「帝国書院」日本の各時代がバランスよく客観的に描かれ、平和、人権についてよく考えられる p93、p101、p137、p179、p222、p285、p293、p295、p301、p132、p268～269 日本の戦争における加害についても穏さず客観的に記述されている。 「学び舎」歴史を通して自分で考える力をつけることができる。P38、p72、p80。P96、p140、p254、p258、p262、p266、p60、p66、p108、p110、p178、p224、p228、p234、p236

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
18	6月3日	育鵬社、歴史		1、日本の歴史を天皇の歴史(皇国史観)として記述しており、神武天皇が実在の天皇の始まりであるかのようにかいている。神話を史実のように扱うべきではない。科学的な歴史を子どもには学ばせるのが良いので育鵬社歴史はふさわしくない。 2、大仙古墳を「仁徳天皇陵」としているが、学術的な根拠は乏しいというのが定説ではないのか。また秦の始皇帝陵の4倍の面積とあるが、始皇帝陵大仙古墳より約600年前に作られた高度な石組みの建築物で兵馬俑なども含めると大仙古墳より大きい。時代も技術も違うのに面積だけで自慢するのは歴史学の非常識です。
19	6月3日	育鵬社歴史		① P237 特攻隊を美化している。 ↑ 戦争を肯定し美化する記述が多い。↓ ② P234 太平洋戦争を「大東亜戦争」と呼ぶことに異議がある。 本年 4月5日陸上自衛隊が硫黄島の戦いに関連して「大東亜戦争の最大の激戦地」とXに投稿した。政府は公式に「大東亜戦争」という呼称を使用しておらず、4/8陸自は削除した。「大東亜」はアジア太平洋諸国を旧日本帝国が侵略するために使っていた言葉であり、侵略戦争を肯定するもの。
20	6月6日	令和書籍		・目次からいきなり「序 国史を学ぶにあたって」と「国史」といった古ぼけた用語が出て驚いた。 ・「歴代天皇の皇位継承図」が詳しく書かれていたり、各時代の「天皇」の活躍などが詳しく書かれていて、民衆(国民)の視点がぼやけていると思いました。 ・A5版で小型、資料も写真も白黒で見にくいです。 ・太平洋戦争を「大東亜戦争」と云ったり、特攻作戦での戦死者を「散華」と云ったり、戦争を美化する表現をやめてほしい ・教科書としては、採択されてほしくないです！
21	6月6日	光村図書 道徳		「家族って？家庭って」 家族の形は血縁関係を中心とした人々の集まりだけではないという見解を述べています。世界では北欧などで養子縁組なども一般的で、兄弟で民族ルーツが違う場合もあります。そのことなどを考える教材にして下さい。
22	6月6日	光村図書 道徳		「ぼくの物語 あなたの物語」 絵がすばらしいです。人種や肌の色で人を判断しない、差別しない、ということ具体的に子どもたちの思いに添って書かれていて、とても自分ごとのように考えることができます。

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
23	6月6日	令和書籍 国史		日本による韓国併合は、朝鮮を植民地とすることであり土地調査として朝鮮の人々の土地を奪い、生活できなくした。そのことが正確にかかれていません。 ・沖縄戦の記述が史実にそっていません。沖縄戦で4人に1人が亡くなっています。「逃げ場を失って自決した」と述べていますが、軍による強制で集団自決させられたり「捕りよになると殺される」という軍国教育を受けてきたので、自ら命をたつ選択せざるをえなかったのです。その事実を教科書に書いて平和について考える教材にしてはどうだろうか。
24	6月6日	育鵬社歴史		読んだ限りの印象は「あまりいい教科書ではない」というものでした。いろんなか所に引っかかりましたが、特に太平洋戦争の部分！「大東亜戦争」と名づけられた、といった表現でこの用語を使用しているおかしさ。それよりも(他の教科書も含め)日本国は戦争する以外の生きる道をさぐれなかったこと、開戦後間もなく戦局悪化(分かっていたこと)をもっと批判的に書けないのかと思った。 どれだけの国民、中国国民、東南アジアの人々の生命がうばわれたことか、あまり反省している文章に出会えない教科書でした。
25	6月6日	育鵬社の歴史教科書		P192 写真に「韓国服の伊藤博文」を使って、日本が朝鮮文化を尊重しているように見せているが、他の写真例えば「韓国皇太子に和服を着せた」写真の方が、ずっと日本の朝鮮支配を表わしていると思う。P193の「韓国併合後の朝鮮の変化」表は良いことばかりを並べているが本当なのだろうか？例えば、米生産量が2倍近くに増産したとされるが、増えた米は日本に持ち帰っている等、素直に信用でいない数字を並べている。学校数も8倍くらいに増えたとされるが、その実態はどうであったのか！朝鮮語使用が禁じられ日本語が強制させられたのでは。歴史も日本の歴史教育が押しつけられたが、そういった実態には触れない、ひどい内容の教科書だと思う。こういった教科書は採択しないで！
26	6月6日	日本教科書道徳	2年	「ライフ・ロール」について、女性は家庭と仕事を両立することの大変さをテーマにしていますが、女性は家族のために管理職になれないなど、犠牲になることは「しかたない」とおもわせる内容になっているのではないのか。職場の両立支援の重要性や家庭、家族のサポートも必要なこと(父親が祖母の病院へ付きそうこと)をかかれていないのは不満です

令和7年度使用教科用図書閲覧票（令和6年6月6日～6月29日）

閲覧場所（島本町立図書館）

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
1	6月7日	東京書籍 歴史		P235「植民地と占領地」の項目では「多数の朝鮮人や中国人が意見に反して日本に連れてこられた。こうした動員は女性にもおよび戦地で働かされた人もいた」と史実に正確な記述あり評価できます。 「戦場の日本兵士」のコラムも戦闘による死より病死、餓死、自殺などがあったことや、PTSDの増加にもきちんと触れられており「戦争の実相」がよく伝わります。平和を希求する子どもたちにその事実を学んでほしいです。
2	6月7日	日本教科書 道徳	1年	男女平等やLGBTQなどジェンダー少数の多様性についての内容がないので人権感覚が育ちにくいのではないかな。 P116「百の診療所より、一本の用水路を」と中村哲さんのアフガニスタンでの医療、農業、用水路事業で支援を続けたことを取り上げています。「アフガニスタンをテロ支援国家とみなしての国家制裁」がアフガニスタンの食糧不足に拍車をかけたことが記載されているが、米国のアフガニスタン空爆やそれを支持する日本政府については書かれていない。又、2001年10月13日衆院テロ対策特別委員会で参考人として発言された中村哲氏は「（現地の実情を踏まえ、自衛隊派遣は現地の人々の日本に対する信頼を崩しかねない。有害無益でございます）といわれていた。 自民党議員は「発言の取り返しを！」と要求。そのようなことも教科書には書いてほしいです。
3	6月7日	帝国書院 歴史		P32 大仙(大山)古墳について、不確かな仁徳天皇陵としない所が学術的であり評価できます。 P268、269「戦場となった沖縄」ということで沖縄戦について2ページもとあげている。 うるま市具志川の「ガマでは日本軍に渡された手榴弾によって死に追いやられ死んだ」と軍の関与が書かれています。「戦争マラリア(軍による強制移住)」についてもとりあげられて実態が史実に沿ったものになっており教科書としてふさわしいです。 戦争において「軍は住民を守らない」ということが沖縄戦を知ることによってよくわかります。 P265日本が植民地を支配していた朝鮮や台湾の人々への皇民化政策や、朝鮮人・中国人への強制的な徴用で低賃金で厳しい仕事に就かされたことも記述があり評価できます。
4	6月8日	自由社 新しい歴史		神話について事こまかに書かれていて、それが天皇と直接結びついているような記述になっている。(P289の天皇系図の始まりが神話の神武天皇となっている) 神話は神話として学ぶべきで、現代につながる天皇制と混同する記述はよくない

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
5	6月8日	自由社 新しい公民		第3章 日本国憲法のとらえ方がおかしい ・国家像として 天皇を大きくとりあげ立憲君主制が目標のような表記をして現憲法を否定するかのようになっている ・憲法は政治権力が守るべきものとの視点に欠ける
6	6月9日	帝国書院 歴史		タイムトラベルにそって書かれていて、世界の中での日本の歴史もわかりやすく、非常によいと思う
7	6月9日	自由社 歴史		大日本帝国憲法の所で天皇には政治的責任を負わせないと、第二次世界大戦での天皇の責任がなかったとするような記述であり、認められない
8	6月9日	自由社 公民		これは絶対ダメである。
9	6月9日	帝国書院 歴史		これが一番良い ・多面的にとらえていて、民衆の姿も生き生きと描かれている。 ・生徒たちが、自分ごととして考え、向きあえる教科書である。
10	6月9日	育鵬社 公民		これはダメ、嫌である。 生徒が正しい判断力等をなくす恐れあり。
11	6月9日	育鵬社 歴史	(2)―①	育鵬社の歴史も絶対ダメである。 ・神話を歴史と混同し、天皇の扱いが大きい。 ・根拠なく、日本すごい！を植えつける恐れある。
12	6月9日	育鵬社 歴史	(2)―②	育鵬社の歴史～ダメ。 ・戦争を美しくとらえている。まちがっている。 ・女性差別
13	6月9日	自由社 歴史	3	ダメである。 ・天皇のとらえ方、片寄っている～昭和天皇など、歴代天皇系図も不要 ・日本中心主義の歴史観が強すぎる。 ・国際人を育てる巾広い視点がない。
14	6月9日	令和書籍 社会科	(1)	令和書籍は絶対ダメである。 ・生徒のことを考えて作られていない。 これを使用して学習する生徒のことを考えると、未来が恐ろしくなる。 国史とか歴代天皇の継承図とか… まちがったゆがんだ歴史観をおしつけている。

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
15	6月12日	帝国書院 公民		①P48～49「平等権と差別されない権利」について憲法14条を根拠としてジェンダ不平等や性的マイノリティ差別などを取り上げており、又同性婚夫婦別姓問題も、ていねいに説明されていて教科書として評価できます。 ②P138～139 労働者の権利、労働三権について述べられ、子どもたちが将来安心して働くの権利が理解できます。男女差別や外国人労働者の雇用に平等や雇用の不利がないよう考えさせる内容もあり。良い教科書です。
16	6月12日	令和書籍 国史教科書		うわさに聞いて手にとった。ある意味で興味深く読んだ。教科書としての採択はまずない。あるべきではないと考えます。まず生徒の関心をひく図表や写真など少なく、しかもカラーではない点。近年ますますわかりやすさ、ビジュアル化がすすむ中でこれに逆行している。生徒の文字ばなれも問題であるが圧倒的に自数が多い。 またベースに天皇、皇室をあがめる思惑思想がありありとでていることも、様々な価値観のあることを知り学ぶ時期の子ども達の教材にふさわしくない。指摘できる箇所はどこか？といわれればはてなである。偏向がすぎるため、採択という以前に教科書として適格性を欠く。P326の戦艦挿入になぜここまで紙面をさくのか？後ろに富士山という、のも、もうちょっとないなというところ。P365も同様。
17	6月19日	自由社 新しい歴史教科書		自由社の歴史教科書を採用しないほしい。沖縄戦の本文記述は2行。広島原爆投下記述は2行。長崎はなし。それに対して「天皇の聖断は」ほぼ1ページをつかつてのせられている。(P245) 天皇しか見えないのか？国民の姿が描かれていない。
18	6月19日	自由社 「新しい歴史教科書」		自由社の教科書を採用しないほしい。 我田引水が多すぎる。「満州国」成立は、日本がかいらい皇帝をあやつったことが事実であるのに、「満州族の復権の願望に応えるもの」としている。ウソを教えてはいけない。
19	6月19日	帝国書院 「中学の歴史」		帝国書院の「中学の歴史」を採用するのがよいと思う。たとえば P270「原爆の投下」においても、事実とすっきり伝えと共に、「ある少女の日記」のをせ、子どもたちに想像共感しやすい作りをとっている。

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
20	6月19日	国史教科書 (令和書籍)		国史教科書を絶対採用しないで頂きたい。 広島原爆被害については、7行のみの記述。オバマ大統領が来広した事は、3ページもつかって日米友好として描かれている。P456の「原爆投下は正しかったか」というディスカッションでは「日本側に落ち度がなかったか」というテーマもあり、ヒバク者の方々には絶対見せられない教科書だ。
21	6月19日	自由社 新しい歴史教科書		自由社の歴史教科書を採用しないで頂きたい 日本の日露戦争の結果を大々的にとりあげ、アジアに希望を与えたとウソの強調をしている
22	6月19日	光村図書道徳		・「共に生きるために大切なことは？」の章に人権とは何だろう？と考えさせるテーマがありますが、障がいを持つ少女の思い、ハンセン病患者とコロナ感染による差別、民族又は人種(なのか)が違う人たちのとの共生が取り上げられていて良い教材です。 ・光村の道徳教科書は自ら判断して誠実に行動していくことができることを目指している。教訓的でないのが良いです。
23	6月19日	帝国書院 中学の歴史		帝口(国の略字か)書院の歴史教科書を採用してほしい。 世界史のページなど多面にわたる事実をすっきりしたレイアウトで効果的にみせている。子どもの興味をひくと思います。
24	6月22日	新しい歴史教科書 自由社		P268、昭和天皇の無条件礼賛が過ぎる 戦争責任やなぜ東京裁判で裁かれなかったのかが重要。最高権力者が戦争責任を一切とっていないことの異常さこそ、若い人に考えてもらうことが教科書の役目
25	6月23日	自由社 新しい歴史教科書(中学社会)		島本町の子どもたちの授業に使わないで下さい P289 天皇の記述ばかりが目立ち万世一系図の掲載は不要と思われます 一方で P.282 東日本大震災、原発事故とその被害放射能に一切ふれていない日本人の教科書としては信じがたい抜け落ちと排除です歴史的事実をなかったものにする不備が過ぎる
26	6月23日	令和書籍 国史教科書		1. 章立ての初章～四章まで表紙が「天皇」 第五章の近代が「特攻」を漫画で美化、賞賛している その内容は、現行憲法下の平和主義・国民主権に反する為採用はしないで下さい 2. 日本列島が宇宙空間に生まれた起源を「古事記」の神話を多分に用いて説明している点 全編を天皇制と神話とで成り立たせているなど不適切である

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
27	6月28日	道徳 光村図書		これが 良い。 ・全体的にバランスが取れていて、悪い教材が少ない。
28	6月28日	道徳 日本教科書		これは ダメである。 ・偉人伝が多すぎる。 ・女性差別的な価値観に基くものが、気になる。
29	6月28日	教育出版 公民		☆教育出版は人権の視点が良い。採択してほしい教科書です。 1. 憲法の最も大切な考え方が「個人の尊重」であることをP. 41のウォーミングアップ！公民で具体的事例で考えさせていて、子どもには理解しやすい。 2. 「差別をしない、させない」の平等権のところでは、アイヌの人々や外国人への差別、ヘイトスピーチをとりあげています。移民の問題は今日的課題です。様々な人種、民族の人々と共生していくことを学ぶ教材です。 3. 「なぜ沖縄に米軍基地集中しているのだろう」という項目で、沖縄の人々に強いられ基地があるゆえの軍用機の騒音、PFAS、環境汚染、米兵による女性への性暴力事件の多発など、具体的事案をとりあげる必要があると感じました。
30	6月28日	教育出版 歴史		・教科書として採択してください。 ・日本の古代史が、学術的根拠にもとづいて記載されているのが評価できます。「大仙古墳」という名称も、「仁徳天皇陵」という表記にしない所は、史実にそっていると考えます。聖徳太子についても、当時は存在が証明されず、厩戸皇子とするのが、より史実に近いと思われるます。 ・満州への日本の侵略は、敗戦時、満州からの引き揚げにより、集団自決や残留孤児をうみ、苦難を強いられたことは、載せてほしい内容です。 ・「軍国主義の敗北」の項目では、沖縄戦についてかかれており、日本軍によって、集団で「自決」に追い込まれた、沖縄戦の悲惨さをしっかり伝えていることが評価できます
31	6月28日	社会(公民)－ 教育出版		これが一番良い。～考えさせる教科書である。 ・基本的人権＝人々の努力で勝ちとったもの、と、とらえている。 ・平和主義がしっかり通っている。 ・社会保障・福祉を生徒に自分のこととして考えさせる視点に立っている。良い。

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
32	6月28日	社会(公民) —育鵬社		これは ダメである。 ・天皇の役割ばかり、重点的に記述されている。 ・国旗・国歌の扱いが大きすぎる。 ・世界と平和的につながろうとする視点が弱い。
33	6月28日	社会(公民) — 自由社		これは ダメである。 ・好戦的であり、外交努力で 世界とつながろうとする 視点に欠ける。 ・安全保障の観点が、薄い。
34	6月28日	社会(公民) — 帝国書院		これは、ダメである。 ・視点も ぼんやり。何を生徒に学ばせたいのか、—教 科書から、熱意が感じられない。 ※歴史が良いだけに、残念である。
35	6月29日	公民 自由社 採 択 しない でほしい		・日本国の国民主権、平和主義(戦争放棄)を正面から 無視した記述が多すぎる (P68～69、P186～187)
36	6月29日	歴史		史実に基づかず、神話を載せ、信じさせようとするような 教科書があり、まるで戦前のようなものです。(令和書籍 etc.) そうした教科書は使用しないでほしいです。又育鵬社 など、第二次世界大戦の日本の加害性をあまりにも過 小評価しており、おかしいと思います。(沖縄戦など)
37	6月29日	歴史 帝国書 院 採 択 に ふ さ わ しい と思いま す		・偉人や英雄ばかりを取り上げず1国民や市民から歴 史がつくられてきたことをつかむことが出来る所 ・過去の戦争について加害・被害も共に様々なとらえ方 を紹介している。(P.196 P248～249) 女性問題は特 に工夫されている
38	6月29日	歴史(中学) 学び舎 採 択 し て ほ し い		(部数少い為か町立図書館にはなく他所で拝見しまし た) ・他社には見られない考えて議論する為に必要な教科 書と思います ・各章立てが引き寄せる工夫がされ そこから掘り下げ て学ぶことが出来る内容と思いました 歴史的事実を公 平に取り扱っている ・カラーの使用を抑えており昨今のADHD・発達障害 など課題をもつ生徒さんにも使いやすい編集になって いると思います

No.	月日	閲覧本の種類	学年	意見・感想
39	6月29日	公民 育鵬社		(採択しないで下さい 何故このようなものが検定をとめるのか) ◎現憲法よりも大日本帝国憲法の記述の内容・量を大きく扱っている ◎国民主権より天皇の役割の説明が多い ◎子ども食堂が子どもの貧困解決に大切な役割を果たしていると強調する余り 社会福祉や義務教育は無償とする 現行法の果たすべき国家(政府)の役割をわい少化しているし、読む子どもの自己肯定感にも悪エイキョウを及ぼす
40	6月29日	道徳		下記 採択は考え直してほしい 日本教科書 日本文教 いずれも偉人伝の紹介が気になります 今日の人権、多様性侵略戦争の過去と照らしても1面的な評価でとり扱っている記載が多いです
41	6月29日	道徳		・人権と平和の大切さがもりこまれている 教育出版 ジェンダー平等、憲法で定められた内容をもとに国民主権(P. 46～47)、平和主義(P. 75～79)が記されている 安心して、子どもたちに手渡せる感じがします
42	6月29日	国史 (令和書籍)		目次にP. 460に政権担当者、出来事対照表とのついているが、実際はP. 462に載っています。 教科書・出版物としての体裁をなしていないものである。

中 学 校 用
教 科 書 目 録

(令和 7 年度使用)

令和 6 年 4 月
文 部 科 学 省

は し が き

- この教科書目録は、「教科書の発行に関する臨時措置法」第6条第1項の規定により、指定教科書発行者の届出に基づき文部科学省において作成したものです。
- 義務教育諸学校において使用する教科書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条第6項等の規定により、すべて教科書目録に登載された教科書のうちから採択しなければなりません（学校教育法附則第9条の規定による教科用図書を除く。）。
- 目録中、予定定価欄に記載された金額は、書目の届出時における教科書の定価認可基準等を参考として設定された予定額であり、実際に使用される際の定価は、文部科学大臣が当該教科書の使用年度に対応した定価認可基準を定めた後、認可されます。このため、予定定価と実際に使用される際の定価が異なることがあります。
- 目録中、教科書の記号・番号欄にある「※」は、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」第6条第1項に基づく教科用拡大図書の標準的な規格に基づき作成した教科用拡大図書（以下「拡大教科書」という。）が教科書発行者から発行される予定があることを示しています。
 なお、拡大教科書のサイズ、分冊数、字体（フォント）、文字サイズなどの詳細は、文部科学省ホームページに掲載する予定です。
- 目録中、教科書の記号・番号欄にある「◆」は、学校教育法等の一部を改正する法律（平成30年法律第39号）による改正後の学校教育法（昭和22年法律第26号）第34条第2項に規定する教材（以下「学習者用デジタル教科書」という。）が教科書発行者から発行される予定があることを示しています。
- この目録に登載された中学校（義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を含む。）用教科書の種目別の種類数・点数は、次の表のとおりです。

種 目	種類数	点 数	種 目	種類数	点 数
	種	点		種	点
国 語	4	1 2	美 術	3	8
書 写	4	4	保 健 体 育	4	4
社会（地理的分野）	4	4	技術・家庭（技術分野）	3	4
社会（歴史的分野）	9	9	技術・家庭（家庭分野）	3	3
社会（公民的分野）	6	6	英 語	6	1 8
地 図	2	2	道 徳	7	2 4
数 学	7	2 1			
理 科	5	1 5		種	点
音楽（一 般）	2	6	合 計	7 1	1 4 2
音楽（器楽合奏）	2	2		(2 2 者)	

目 次

国 語	ページ
国 語	1
書 写	1
社 会	
社会（地理的分野）	2
社会（歴史的分野）	2
社会（公民的分野）	3
地 図	3
数 学	
数 学	4
理 科	
理 科	6
音 楽	
音楽（一 般）	7
音楽（器楽合奏）	7

美 術	ページ
美 術	8
保健体育	
保健体育	8
技術・家庭	
技術・家庭(技術分野)	9
技術・家庭(家庭分野)	9
外国語	
英 語	10
特別の教科 道徳	
道 徳	11
発行者一覧 ...	13

国語 国語

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1	国語 002-72 ※／◆	新編 新しい国語 1	B5 306	865	令6	相澤 秀夫 野矢 茂樹 ほか99名
	2	国語 002-82 ※／◆	新編 新しい国語 2	B5 310	865	令6	
	3	国語 002-92 ※／◆	新編 新しい国語 3	B5 322	894	令6	
15 三省堂	1	国語 015-72 ※／◆	現代の国語 1	B5 366	865	令6	中瀬 正堯 ほか41名
	2	国語 015-82 ※／◆	現代の国語 2	B5 366	865	令6	
	3	国語 015-92 ※／◆	現代の国語 3	B5 366	894	令6	
17 教出	1	国語 017-72 ※／◆	伝え合う言葉 中学国語1	B5 357	865	令6	児玉 忠 丹藤 博文 山元 隆春 ほか76名
	2	国語 017-82 ※／◆	伝え合う言葉 中学国語2	B5 373	865	令6	
	3	国語 017-92 ※／◆	伝え合う言葉 中学国語3	B5 357	894	令6	
38 光村	1	国語 038-72 ※／◆	国語1	B5 344	865	令6	甲斐 睦朗 高木 まさき ほか35名
	2	国語 038-82 ※／◆	国語2	B5 344	865	令6	
	3	国語 038-92 ※／◆	国語3	B5 340	894	令6	

国語 書写

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1-3	書写 002-72 ※／◆	新編 新しい書写 一・二・三年	B5 変型 146	471	令6	押木 秀樹 青山 浩之 ほか16名
15 三省堂	1-3	書写 015-72 ※／◆	現代の書写 一・二・三	B5 122	471	令6	中瀬 正堯 ほか8名
17 教出	1-3	書写 017-72 ※／◆	中学書写	AB 146	471	令6	長野 秀章 ほか26名
38 光村	1-3	書写 038-72 ※／◆	中学書写 一・二・三年	B5 変型 166	471	令6	宮澤 正明 ほか20名

社会 社会(地理的分野)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1・2	地理 002-72 ※／◆	新編 新しい社会 地理	AB 294	836	令6	島津 弘 高橋 慎一郎 谷口 将紀 ほか118名
17 教出	1・2	地理 017-72 ※／◆	中学社会 地理 地域にまなぶ	AB 310	836	令6	竹内 裕一 ほか35名
46 帝国	1・2	地理 046-72 ※／◆	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	AB 310	836	令6	加賀美 雅弘 ほか24名
116 日文	1・2	地理 116-72 ※／◆	中学社会 地理的分野	AB 318	836	令6	水内 俊雄 ほか87名

社会 社会(歴史的分野)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1-3	歴史 002-72 ※／◆	新編 新しい社会 歴史	AB 300	836	令6	高橋 慎一郎 島津 弘 谷口 将紀 ほか118名
17 教出	1-3	歴史 017-72 ※／◆	中学社会 歴史 未来をひらく	AB 317	836	令6	久留島 典子 ほか36名
46 帝国	1-3	歴史 046-72 ※／◆	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	AB 334	836	令6	黒田 日出男 ほか16名
81 山川	1-3	歴史 081-72 ※／◆	中学歴史 日本と世界 改訂版	AB 296	836	令6	橋場 弦 桜井 英治 ほか21名
116 日文	1-3	歴史 116-72 ※／◆	中学社会 歴史的分野	AB 324	836	令6	吉川 真司 ほか81名
225 自由社	1-3	歴史 225-72 ◆	新しい歴史教科書	AB 変型 312	836	令6	藤岡 信勝 ほか11名
227 育鵬社	1-3	歴史 227-72 ※／◆	新しい日本の歴史	AB 308	836	令6	伊藤 隆 ほか33名
229 学び舎	1-3	歴史 229-72	ともに学ぶ人間の歴史	A4 308	836	令6	安井 俊夫 ほか22名
236 令書	1-3	歴史 236-73	国史教科書 第7版	A5 520	836	令6	竹田 恒泰 岡本 晟良

社会 社会(公民的分野)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 定 価 (円)	検 定 済 年	著 作 者
2 東書	3	公民 002-92 ※／◆	新編 新しい社会 公民	AB 246	836	令6	谷口 将紀 島津 弘 高橋 慎一郎 ほか118名
17 教出	3	公民 017-92 ※／◆	中学社会 公民 とともに生きる	AB 269	836	令6	成田 喜一郎 ほか35名
46 帝国	3	公民 046-92 ※／◆	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	AB 262	836	令6	江口 勇治 ほか18名
116 日文	3	公民 116-92 ※／◆	中学社会 公民的分野	AB 274	836	令6	野間 敏克 ほか76名
225 自由社	3	公民 225-92 ◆	新しい公民教科書	AB 変型 270	836	令6	小山 常実 ほか11名
227 育鵬社	3	公民 227-92 ※／◆	新しいみんなの公民	AB 262	836	令6	川上 和久 ほか33名

社会 地図

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 定 価 (円)	検 定 済 年	著 作 者
2 東書	1-3	地図 002-72 ※／◆	新編 新しい社会 地図	A4 176	1,189	令6	石丸 哲史 ほか17名
46 帝国	1-3	地図 046-72 ※／◆	中学校社会科地図	A4 198	1,189	令6	株式会社 帝国書院 代表者 佐藤 清 ほか13名

数学 数学

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済 年	著 作 者
2 東書	1	数学 002-72 ※／◆	新編 新しい数学 1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	B5 324	661	令6	清水 美憲 真島 秀行 ほか108名
	2	数学 002-82 ※／◆	新編 新しい数学 2 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	B5 260	661	令6	
	3	数学 002-92 ※／◆	新編 新しい数学 3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	B5 292	661	令6	
4 大日本	1	数学 702 ※／◆	数学の世界1	B5 324	661	令2	相馬 一彦 ほか25名
	2	数学 802 ※／◆	数学の世界2	B5 250	661	令2	
	3	数学 902 ※／◆	数学の世界3	B5 302	661	令2	
11 学図	1	数学 011-72 ※／◆	中学校 数学 1	B5 328	661	令6	池田 敏和 岡田 樟雄 町田 彰一郎 ほか44名
	2	数学 011-82 ※／◆	中学校 数学 2	B5 270	661	令6	
	3	数学 011-92 ※／◆	中学校 数学 3	B5 330	661	令6	
17 教出	1	数学 017-72 ※／◆	中学数学1	B5 346	661	令6	坂井 裕 小谷 元子 ほか45名
	2	数学 017-82 ※／◆	中学数学2	B5 278	661	令6	
	3	数学 017-92 ※／◆	中学数学3	B5 314	661	令6	
61 啓林館	1	数学 061-72 ※／◆	未来へひろがる数学 1	B5 302	661	令6	永田 潤一郎 茅野 公穂 青山 和裕 岡本 和夫 ほか177名
	2	数学 061-82 ※／◆	未来へひろがる数学 2	B5 238	661	令6	
	3	数学 061-92 ※／◆	未来へひろがる数学 3	B5 282	661	令6	

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
104 数研	1	数学 104-73 ※／◆	これからの 数学1	B5 320	661	令6	岡部 恒治 ほか69名
	2	数学 104-83 ※／◆	これからの 数学2	B5 270	661	令6	
	3	数学 104-93 ※／◆	これからの 数学3	B5 328	661	令6	
116 日文	1	数学 116-72 ※／◆	中学数学1	B5 326	661	令6	小山 正孝 飯田 慎司 ほか47名
	2	数学 116-82 ※／◆	中学数学2	B5 266	661	令6	
	3	数学 116-92 ※／◆	中学数学3	B5 304	661	令6	

理科 理科

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1	理科 002-72 ※／◆	新編 新しい科学1	AB 262	803	令6	西原 寛 永原 裕子 ほか133名
	2	理科 002-82 ※／◆	新編 新しい科学2	AB 314	803	令6	
	3	理科 002-92 ※／◆	新編 新しい科学3	AB 326	803	令6	
4 大日本	1	理科 702 ※／◆	理科の世界 1	B5 294	803	令2	有馬 朗人 ほか69名
	2	理科 802 ※／◆	理科の世界 2	B5 318	803	令2	
	3	理科 902 ※／◆	理科の世界 3	B5 374	803	令2	
11 学図	1	理科 011-72 ※／◆	中学校 科学 1	AB 264	803	令6	森本 信也 久保田 善彦 ほか36名
	2	理科 011-82 ※／◆	中学校 科学 2	AB 304	803	令6	
	3	理科 011-92 ※／◆	中学校 科学 3	AB 304	803	令6	
17 教出	1	理科 017-72 ※／◆	自然の探究 中学理科1	AB 変型 291	803	令6	室伏 きみ子 養老 孟司 ほか45名
	2	理科 017-82 ※／◆	自然の探究 中学理科2	AB 変型 315	803	令6	
	3	理科 017-92 ※／◆	自然の探究 中学理科3	AB 変型 347	803	令6	
61 啓林館	1	理科 061-72 ※／◆	未来へひろがるサイエンス1	AB 300	803	令6	大矢 禎一 鎌田 正裕 ほか173名
	2	理科 061-82 ※／◆	未来へひろがるサイエンス2	AB 324	803	令6	
	3	理科 061-92 ※／◆	未来へひろがるサイエンス3	AB 356	803	令6	

音楽 音楽(一般)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
17 教出	1	音楽 017-72 ※／◆	中学音楽 1 音楽のおくりもの	AB 変型 92	270	令6	新実 徳英 ほか26名
	2・3	音楽 017-83 ※／◆	中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの	AB 変型 92	268	令6	
		音楽 017-84 ※／◆	中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの	AB 変型 92	266	令6	
27 教芸	1	音楽 027-72 ※／◆	中学生の音楽 1	AB 変型 98	270	令6	小原 光一 ほか19名
	2・3	音楽 027-83 ※／◆	中学生の音楽 2・3上	AB 変型 98	271	令6	
		音楽 027-84 ※／◆	中学生の音楽 2・3下	AB 変型 98	263	令6	

音楽 音楽(器楽合奏)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
17 教出	1-3	器楽 017-72 ※／◆	中学器楽 音楽のおくりもの	AB 変型 106	299	令6	新実 徳英 ほか11名
27 教芸	1-3	器楽 027-72 ※／◆	中学生の器楽	AB 変型 106	299	令6	小原 光一 ほか19名

美術 美術

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 定 価 (円)	検 定 済 年	著 作 者
9 開隆堂	1	美術 009-72 ※／◆	美術 1	A4 変型 72	354	令6	大坪 圭輔 小池 研二 ほか54名
	2・3	美術 009-82 ※／◆	美術 2・3	A4 変型 128	710	令6	
38 光村	1	美術 038-72 ※／◆	美術 1	A4 変型 68	239	令6	酒井 忠康 ほか33名
		美術 038-73 ※／◆	美術 1 資料	A4 34	115	令6	
	2・3	美術 038-82 ※／◆	美術 2・3	A4 変型 106	710	令6	
116 日文	1	美術 116-72 ※／◆	美術1 美術との出会い	A4 変型 74	354	令6	村上 尚徳 大橋 功 佐藤 賢司 松原 雅俊 山田 猛 山田 一文 齋藤 守彦 ほか39名
	2・3	美術 116-83 ※／◆	美術2・3上 学びの実感と深まり	A4 変型 64	355	令6	
		美術 116-84 ※／◆	美術2・3下 学びの探求と未来	A4 変型 60	355	令6	

保健体育 保健体育

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 定 価 (円)	検 定 済 年	著 作 者
2 東書	1-3	保体 002-72 ※／◆	新編 新しい保健体育	AB	454	令6	戸田 芳雄 ほか51名
				198			
4 大日本	1-3	保体 702 ※／◆	中学校保健体育	B5 変型 196	454	令2	池田 延行 大津 一義 ほか32名
50 大修館	1-3	保体 050-72 ※／◆	最新 中学校保健体育	AB	454	令6	友添 秀則 衛藤 隆 ほか29名
				206			
224 学研	1-3	保体 224-72 ※／◆	新・中学保健体育	AB	454	令6	森 昭三 佐伯 年詩雄 ほか32名
				206			

技術・家庭 技術・家庭(技術分野)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1-3	技術 002-72 ※／◆	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	AB 298	711	令6	村松 浩幸 森山 潤 志村 結美 上野 顕子 ほか78名
6 教図	1-3	技術 006-73 ※／◆	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	A4 変型 262	613	令6	中村 祐治 古川 稔 尾崎 誠
		技術 006-74 ※／◆	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	A4 変型 42	98	令6	太田 達郎 長南 裕志 ほか54名
9 開隆堂	1-3	技術 009-72 ※／◆	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	AB 314	711	令6	竹野 英敏 安東 茂樹 大谷 忠 安藤 明伸 三浦 登 ほか137名

技術・家庭 技術・家庭(家庭分野)

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1-3	家庭 002-72 ※／◆	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	AB 298	711	令6	志村 結美 上野 顕子 村松 浩幸 森山 潤 ほか78名
6 教図	1-3	家庭 006-72 ※／◆	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	A4 変型 296	711	令6	河村 美穂 ほか38名
9 開隆堂	1-3	家庭 009-72 ※／◆	技術・家庭 家庭分野 自立とともに支え合う生活へ	AB 314	711	令6	綿引 伴子 石井 克枝 倉持 清美 ほか129名

外国語 英語

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済年	著 作 者
2 東書	1	英語 002-72 ※／◆	NEW HORIZON English Course 1	A4 170	354	令6	阿野 幸一 アレン玉井 光江 ほか120名
	2	英語 002-82 ※／◆	NEW HORIZON English Course 2	A4 158	354	令6	
	3	英語 002-92 ※／◆	NEW HORIZON English Course 3	A4 158	354	令6	
9 開隆堂	1	英語 009-72 ※／◆	Sunshine English Course 1	A4 182	354	令6	卯城 祐司 ほか76名
	2	英語 009-82 ※／◆	Sunshine English Course 2	A4 166	354	令6	
	3	英語 009-92 ※／◆	Sunshine English Course 3	A4 166	354	令6	
15 三省堂	1	英語 015-72 ※／◆	NEW CROWN English Series 1	A4 188	354	令6	工藤 洋路 ほか38名
	2	英語 015-82 ※／◆	NEW CROWN English Series 2	A4 172	354	令6	
	3	英語 015-92 ※／◆	NEW CROWN English Series 3	A4 172	354	令6	
17 教出	1	英語 017-72 ※／◆	ONE WORLD English Course 1	AB 182	354	令6	本多 敏幸 金森 強 ほか42名
	2	英語 017-82 ※／◆	ONE WORLD English Course 2	AB 182	354	令6	
	3	英語 017-92 ※／◆	ONE WORLD English Course 3	AB 182	354	令6	
38 光村	1	英語 038-72 ※／◆	Here We Go! ENGLISH COURSE 1	AB 194	354	令6	太田 洋 ほか41名
	2	英語 038-82 ※／◆	Here We Go! ENGLISH COURSE 2	AB 194	354	令6	
	3	英語 038-92 ※／◆	Here We Go! ENGLISH COURSE 3	AB 194	354	令6	
61 啓林館	1	英語 061-72 ※／◆	BLUE SKY English Course 1	A4 166	354	令6	馬場 哲生 ほか120名
	2	英語 061-82 ※／◆	BLUE SKY English Course 2	A4 170	354	令6	
	3	英語 061-92 ※／◆	BLUE SKY English Course 3	A4 154	354	令6	

特別の教科 道徳 道徳

※教科書の記号・番号欄の「※」は拡大教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

※教科書の記号・番号欄の「◆」は学習者用デジタル教科書の発行予定があることを示す(はしがき参照)

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 額 (円)	検 定 済 年	著 作 者
2 東書	1	道徳 002-72 ※／◆	新編 新しい道徳1	AB 202	469	令6	谷田 増幸 和井内 良樹 ほか112名
	2	道徳 002-82 ※／◆	新編 新しい道徳2	AB 210	469	令6	
	3	道徳 002-92 ※／◆	新編 新しい道徳3	AB 210	469	令6	
17 教出	1	道徳 017-72 ※／◆	中学道徳1 とびだそう未来へ	B5 209	469	令6	林 泰成 柳沼 良太 鈴木 健二 ほか26名
	2	道徳 017-82 ※／◆	中学道徳2 とびだそう未来へ	B5 201	469	令6	
	3	道徳 017-92 ※／◆	中学道徳3 とびだそう未来へ	B5 201	469	令6	
38 光村	1	道徳 038-72 ※／◆	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき	B5 変型 191	469	令6	赤坂 真二 ほか38名
	2	道徳 038-82 ※／◆	中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき	B5 変型 199	469	令6	
	3	道徳 038-92 ※／◆	中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき	B5 変型 199	469	令6	
116 日文	1	道徳 116-73 ※／◆	中学道徳 あすを生きる 1	B5 178	401	令6	越智 貢 島 恒生 吉澤 良保 ほか49名
		道徳 116-74 ※／◆	中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート	B5 42	68	令6	
	2	道徳 116-83 ※／◆	中学道徳 あすを生きる 2	B5 186	401	令6	
		道徳 116-84 ※／◆	中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート	B5 42	68	令6	
	3	道徳 116-93 ※／◆	中学道徳 あすを生きる 3	B5 194	401	令6	
		道徳 116-94 ※／◆	中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	B5 42	68	令6	
224 学研	1	道徳 224-72 ※／◆	新版 中学生の道徳 明日への扉 1	AB 190	469	令6	永田 繁雄 ほか34名
	2	道徳 224-82 ※／◆	新版 中学生の道徳 明日への扉 2	AB 194	469	令6	
	3	道徳 224-92 ※／◆	新版 中学生の道徳 明日への扉 3	AB 198	469	令6	

発行者 の番号 ・略称	使用 学年	教科書 の記号 ・番号	書 名	判型 ページ数	予 定 価 (円)	検 定 済 年	著 作 者
232 あか図	1	道徳 232-73 ※／◆	中学生の道徳1	B5 194	469	令6	七條 正典 柴原 弘志 岩井 晃子 ほか25名
	2	道徳 232-83 ※／◆	中学生の道徳2	B5 194	469	令6	
	3	道徳 232-93 ※／◆	中学生の道徳3	B5 194	469	令6	
233 日科	1	道徳 233-72 ※／◆	道徳 中学校1 生き方から学ぶ	AB 163	469	令6	鈴木 寛 白木 みどり ほか21名
	2	道徳 233-82 ※／◆	道徳 中学校2 生き方を見つめる	AB 167	469	令6	
	3	道徳 233-92 ※／◆	道徳 中学校3 生き方を創造する	AB 171	469	令6	

発行者一覧(注:(支)は支社・支店)

発行者 の番号 ・略称	発 行 者	郵便番号	住 所	電 話 番 号	発行 教科書 の種別
2 東 書	東京書籍株式会社	114-8524	東京都北区堀船2の17の1	03(5390)7200(代)	小中高
4 大日本	大日本図書株式会社	112-0012	東京都文京区大塚3の11の6	03(5940)8670(代)	小中
6 教 図	教育図書株式会社	101-0052	東京都千代田区神田小川町3の3の2	03(3233)9100(代)	中高
9 開隆堂	開隆堂出版株式会社	113-8608	東京都文京区向丘1の13の1	03(5684)6111(代)	小中高
11 学 図	学校図書株式会社	101-0063	東京都千代田区神田淡路町2の23の1	03(6285)2916	小中
15 三省堂	株式会社三省堂	102-8371	東京都千代田区麴町5の7の2	03(3230)9411	小中高
17 教 出	教育出版株式会社	135-0063	東京都江東区有明3の4の10 TFTビル西館	03(5579)6278(代)	小中高
27 教 芸	株式会社教育芸術社	171-0051	東京都豊島区長崎1の12の14	03(3957)1175(代)	小中高
38 光 村	光村図書出版株式会社	141-8675	東京都品川区上大崎2の19の9	03(3493)2111(代)	小中高
46 帝 国	株式会社帝国書院	101-0051	東京都千代田区神田神保町3の29	03(3262)4795(代)	小中高
50 大修館	株式会社大修館書店	113-8541	東京都文京区湯島2の1の1	03(3868)2211(大代)	小中高
61 啓林館	株式会社新興出版社啓林館	543-0052 113-0023	大阪府大阪市天王寺区大道4の3の25 (支)東京都文京区向丘2の3の10	06(6779)1531(大代) 03(3814)2151(代)	小中高
81 山 川	株式会社山川出版社	101-0047	東京都千代田区内神田1の13の13	03(3293)8131(代)	中高
104 数 研	数研出版株式会社	101-0052	東京都千代田区神田小川町2の3の3	03(5283)6001(代)	中高
116 日 文	日本文教出版株式会社	558-0041 165-0026	大阪府大阪市住吉区南住吉4の7の5 (支)東京都中野区新井1の2の16	06(6692)1261(代) 03(3389)4611(代)	小中高
224 学 研	株式会社Gakken	141-8416	東京都品川区西五反田2の11の8	03(6431)1151(代)	小中
225 自由社	株式会社自由社	112-0005	東京都文京区水道2の6の3	03(5981)9170(代)	中
227 育鵬社	株式会社育鵬社	105-0022	東京都港区海岸1の2の20 汐留ビルディング19F	03(5843)8395	中
229 学び舎	株式会社学び舎	190-0022	東京都立川市錦町3の1の3の605	042(512)5960	中
232 あか図	あかつき教育図書株式会社	176-0021	東京都練馬区貫井4の1の11	03(3825)9188	中
233 日 科	日本教科書株式会社	150-0011	東京都渋谷区東1の11の3	03(3518)6345	中
236 令 書	令和書籍株式会社	108-0014	東京都港区芝5の13の16	03(6435)1358	中